

あきる野市教育委員会 7 月定例会会議録

- 1 開催日 令和 2 年 7 月 2 9 日（水）
- 2 開催時刻 午後 2 時 0 0 分
- 3 終了時刻 午後 5 時 4 9 分
- 4 場所 あきる野市役所 5 階 5 0 3 会議室
- 5 日程
- 日程第 1 議案第 2 0 号 令和 3 年度使用教科用図書（中学校）の採択について
- 日程第 2 報告第 8 号 臨時代理した令和 2 年度あきる野市教育委員会所管予算（第 5 号補正）に関する報告及び承認について
- 日程第 3 報告第 9 号 臨時代理した令和 2 年度あきる野市教育委員会所管予算（第 6 号補正）に関する報告及び承認について
- 日程第 4 報告第 1 0 号 臨時代理したあきる野市小和田グラウンド災害復旧工事（債務負担行為）の請負契約の変更に関する報告及び承認について
- 日程第 5 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員
- | | |
|----------|---------|
| 教 育 長 | 私 市 豊 |
| 教育長職務代理者 | 田野倉 美 保 |
| 委 員 | 丹 治 充 |
| 委 員 | 小 西 フミ子 |
| 委 員 | 坂 谷 充 孝 |
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者
- | | |
|-------------|---------|
| 教 育 部 長 | 渡 邊 浩 二 |
| 指 導 担 当 部 長 | 草 刈 あずさ |
| 生涯学習担当部長 | 佐 藤 幸 広 |
| 教育総務課長 | 鈴 木 将 裕 |
| 教育施設担当課長 | 岩 崎 徹 |
| 学校給食課長 | 山 本 匡 |
| 指 導 担 当 課 長 | 渡 邊 啓 介 |

生涯学習推進課長	吉岡賢
スポーツ推進課長	長谷川美樹
図書館長	紺藤修子
指導主事	大道雅士
指導主事	宇佐美琢郎

9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（私市 豊君）

皆様、こんにちは。7月の定例教育委員会を始めたいと思います。本日は令和3年度の中学校の教科書の採択をいたしますが、このように多くの方に関心を持っていただきまして、皆様方の学校教育に対する思いに敬意を表する次第であります。本当にありがとうございます。

それでは、ただいまよりあきる野市教育委員会7月定例会を開催いたします。

本日は、教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

本日は、傍聴の希望がありますので、許可したいと思います。

本会議の傍聴人定数は10人となっておりますが、傍聴の申込みが多数見込まれたため、あきる野市教育委員会傍聴規則第2条の規定により定数を変更し、50人といたしました。なお、今回の50人という定数は、都内の新型コロナウイルス感染症の発症者数が連日200人を上回ることなどを踏まえ、感染防止対策として座席の配置や座席数などを調整し、決定いたしております。傍聴される方々につきましては、マスクの着用や会話を控えていただくなど、会場内でのエチケット等のご協力をお願いいたします。

それでは、議事日程に従って会議を進めたいと思います。

まず、議事録署名委員については、小西委員と田野倉委員を指名します。

それでは、議事に入ります。

日程第1 議案第20号令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択についてを上程します。

それでは、説明を指導担当部長をお願いいたします。

指導担当部長（草刈あずさ君）

では、議案第20号令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択についてご説明いたします。

教科書採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第21条の6により、教育委員会の職務権限が定められております。これに基づき、本市では、「あきる野市公立学校教科用図書選定要項」を定め、あきる野市立公立学校で使用する教科用図書について採択、決定することについて教育委員会の責任を明確にしております。

ご案内のとおり、新しい学習指導要領が平成29年3月に告示され、中学校では令和3年度から全面実施されることとなります。これに伴いまして、教科用図書が全面改訂され、今回採択いたします令和3年度使用中学校教科用図書につきましては、令和3年度から6年度までの4年間使用する教科用図書となります。

あきる野市教育委員会といたしましては、教科用図書の採択が専門的な教科用図書研究に基づき、適正かつ公平になされるよう、専門性の高い教員で組織する教科専門部会、管理職で組織する調査委員会、そして市民、行政、学校の代表から成る選定資料審議会の組織をつくり、それぞれの立場から調査研究及び選定資料の作成を進めてまいりました。

また、教科用図書見本本の閲覧につきましては、5月上旬から約1か月間、教科用図書

見本本を学校に回覧し、学校からの意見を収集いたしました。さらに、教育委員の皆様がいつでも閲覧、研究できますよう、ご自宅に教科用図書の見本本を送付させていただきました。教科書センターにつきましては、6月12日から7月15日までの展示会期間中に、延べ76名の市民の方々に閲覧していただき、広く皆様のお声をいただくことができました。

教科用図書の選択に当たってご用意しました資料は、こうした調査研究を踏まえて、選定資料審議会が取りまとめた資料であります。本日は、令和3年度から6年度における中学校の各教科等の授業で使用する教科用図書の採択につきましてご審議をお願いいたします。この後指導担当課長から配付資料につきまして説明をいたします。

教育長（私市 豊君）

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

配付しております教科用図書選定資料審議会資料につきましてご説明いたします。

本年6月8日に開催されました第1回教科用図書選定資料審議会において、あきる野市立五日市中学校、齋藤弘圭校長を審議会委員長に選任し、公正な教科用図書採択事務手続の説明とともに、審議委員の方々に進めていただき、調査研究の内容及び日程等について確認いたしました。その後、7月14日に第2回教科用図書選定資料審議会を開催し、資料を作成いたしました。

審議会での協議の基本資料としたのは、中学校管理職を中心とした専門性の高い教員によって調査研究を行った教科用図書調査委員会の報告書でございます。審議会では、実際に各教科用図書と照らしながら、内容の選択、配列・分量、表記・表現、使用上の便宜の4つの項目につきまして、客観性等を協議、検討し、教科用図書選定資料審議会資料を作成いたしました。また、教科書展示会を行った際、市民の方々からご記入いただいたアンケートにつきましても、採択の参考としていただきたく、過日委員の皆さまにお渡ししたところでございます。

それでは、教科用図書選定資料審議会による審議結果につきまして、教科ごとに、特に評価の高かった教科用図書を中心に報告いたします。

初めに、国語の審議結果についてです。

国語の教科用図書は、4社から発行されており、現在採択されている教科用図書は教育出版です。

審議会において特に評価の高かったものは、三省堂、光村図書出版です。

三省堂は、内容について系統的な配列になっており、発達段階に配慮していること、様々な生徒の学習ニーズに対応できる内容になっているという点で評価されました。

光村図書出版は、学年に応じた難易度に内容、文章が設定されていること、目標と学習の流れが明確に示されていること、主体的に学べる工夫がされており、生徒が活用しやすくなっているという点で評価されています。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

国語について事務局のほうから審議会の結果等についての説明がありました。

これより委員の皆様からのご意見を伺います。どうぞ。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

先ほど教育長からもお話がありましたように、市民の方々が本当に教育に対して関心を持っていただいていること、非常にうれしく思います。アンケートも拝見させていただきましたが、子どもたちが無理なく学べる教科書を選んでほしい、また現場の先生方が使いやすい教科書を考慮してほしいという気持ちは、私も同じ思いです。

それでは、国語についてお話しさせていただきます。国語は、4社とも同じB5判の大きさで、話す、聞く、書く、読むの4つの能力が適切に育まれるようにバランスよく構成されていると思われました。

その中で、今お話に上がった光村図書ですが、紙面が少しくクリーム色がかっていて、視覚的に見やすく、掲載写真やイラストも非常にきれいで良いと思われました。特に日本語特有の細やかな表現を学ぶことにおいては、一番ふさわしい教科書と評価できます。例えば裏表紙の「言葉を味わう」では、日本古来の時を表す言葉、色の名前、季節の言葉などが掲載されており、伝統的な日本語の豊かさや美しさを十分に味わうことができます。平易な言葉だけでなく、様々な語彙や表現を学ぶことで言語能力を磨いていってほしいと思います。構成としては、巻頭には進級を祝う詩で始まり、学習の見通しが分かりやすく書かれ、発達段階に応じた内容構成になっています。また、知識、技能の内容で情報を扱っていることも評価したいと思います。学習を広げるための巻末資料が非常に充実しており、様々な活用できると思いました。

一方、三省堂ですが、各教材の冒頭で目標を明示し、また「学びの道しるべ」で学習の過程を示し、学びのステップを明確にすることで、生徒が見通しを持って「主体的・対話的で深い学び」ができるようになってきていると思われました。文章、写真、イラストなどの分量やバランスがちょうどよく、生徒がイメージをつかみやすく、また扱っている題材も系統的な配列となっており、発達段階に配慮していると感じました。

内容では、光村図書が、そして使用するに当たっては三省堂といったように、それぞれ良いところがあり、甲乙つけ難いと思いますが、どちらかといえば光村図書がふさわしいのではないかと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ほかの委員さんからご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

先ほど教育委員会事務局から、採択に当たっての報告がございましたように、私どもも教科用図書の見本本、それから東京都の教科図書調査研究資料あるいは市の選定協議会資料等を参考として、教育委員の責任と権限において最適と考えられる教科書について調査

をさせていただきました。

その視点は、新学習指導要領に伴う教科横断的な学習が図られているかどうか、そして主体的で深い学びを通して、あきる野市の中学生が創意工夫を図り、特色ある教育活動が実現しやすい教科書という観点から、各科の見本本を調査させていただきました。また、本市の中学生の課題である基礎的、基本的な学力の確実な定着を図るという中で、思考あるいは判断、表現力等を育みながら、他者との共同を通して課題解決が図られていくかどうか。さらに、豊かな心や創造性の涵養、健康で安全な生活や豊かな体験活動について、生徒が学びやすく教師が指導しやすい観点から、これから推薦をさせていただきます。

今回拝見した教科書本の中身は、どの教科書も大変よくできておりました、各单元ごとに活用できるQRコードあるいは簡単にデジタル資料を表示できるようになっていました。生徒の家庭学習が課題になる中で、有効に活用できるのではないかと考えました。また、教師は教材適用を通じて、教材の提示に工夫を凝らしながら、ある单元では拡大ポインターを使用したり、あるいは教科書ページの拡大印刷物、あるいはピクチャーカードなどを作ったり、そして板書の工夫などに取り組んでおりますけれども、その費やす時間の手間がかからない、容易にデジタル資料を提示することができるようになると思われました。

さらに、本年度は新型コロナウイルスの感染で休校が余儀なくされ、今後のことを考えた時、リモート授業等が必要になってくると考えられます。そうした中で、国のIT教育授業推進政策に伴って、あきる野市では生徒1人1台の端末機器が配置あるいは貸与されることが計画されております。そういった点から、各社の教科書ではデジタル教材が活用できるデジタルコンテンツが大変充実しており、活用しやすい工夫が随所に見られました。今後有効に活用できるか否かなど、このような観点から国語の見本本等についても配点をしたところです。

そういった中で、私は東京書籍、教育出版、そして光村図書出版の3社の有用性が印象に残りました。特に光村図書出版の国語は、学習の目標や流れが明確に提示され、学習意欲の向上につながっていくのではないかと考えられます。また、発展的な学習を考慮した難易度のある文章が示され、内容に偏りがなく、学習の系統性が図られて、学習の目標と家庭学習を通じて主体的に学ぶための工夫が見られました。そして、学習の分量も適切であると思われまます。

内容的には、先ほど田野倉委員からのご説明と重複しておりますので省きますが、その中で様々な分野がバランスよく配置され、巻頭、巻末の資料等がよく整理、記載されていると言えます。私がこの教科書の中で、特に発展的な学習を扱う一つ一つの教材の内容を深めるには最適なボリュームになっているのではないだろうか、そして読みやすい大きさのフォントを使用している、このような観点から私も光村図書を推薦したいと考えます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さんいかがでしょう。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

お二人の委員さんがお話しされた以外のことで話をさせていただきたいと思います。私も審議会資料と、アンケート、それから教科書を毎日、ほとんどずっと読んでいました。たくさん書いてくださったアンケートを見て、本当に子どもたちのために一生懸命見てくださっているんだなとすごく感動しました。

それで、教科書に入りますが、各社とも題材や写真、イラストの工夫を凝らしていたと思います。載せたい文がたくさんあることは分かるのですが、ページを開いたときに文字が多過ぎると少し疲れてしまいます。さらに、同じ字体が続くと飽きてしまうように思います。その点から見たときに、光村図書は他社に比べて色使いや字体の変化を取り入れて読みやすく、落ち着いている感じでした。三省堂も、使用題材がよく、出てくる人の作品、例えば重松清さんの「電車は走る」や熊谷晋一郎さんの「依存先を増やしていくことも大事」など、この作者たちの他の作品を読んでもみたくなるような内容でした。

この作者が他の出版社にも使われていました。これは障がい者のことが書いてあり、福祉かなと思う内容がこの方たちから出されています。昔から繰り返し、お話していますが、教育と福祉はいつも並行で、学校教育で小さければ小さいほど自然に身についていくものだと思っています。その点からとても迷いましたが、障がい者やお年寄りの部分、大体福祉とまとめられるような部分は、道徳で念入りに教えていただくほうがいいかとも思いました。国語が好きになるのであれば、疲れなくて入りやすい、優しい色使いの光村図書を私も選ぶことにしました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

中学校で使用する教科用図書の選定に当たりまして、まず市民の皆様からのアンケートによるたくさんのご意見をいただけて、それを拝見できたことはありがたいことだと思っています。かなり専門性のある方からのご意見もありましたので、とても参考にした部分もございました。また、当然のことながら審議会資料、それから自分の目で見える教科用図書、そういった部分を参考にしております。ただ、選定するに当たって、候補を決めるに当たって大切にしたい視点といたしましては、教員が教えやすいという点はもちろんですけども、子どもたちの目線で使いやすい、学びやすいという視点にしました。

そのような中で、国語につきましてまず三省堂、現代の国語、こちらが学びの計画が明確に示されていて、生徒がとても取り組みやすい構成となっているなど感じました。また、生徒同士のコミュニケーションを持ちながら学習していくという進め方や、絵や挿絵、視覚的にもとても把握しやすく工夫されていると感じました。

また、光村図書出版の国語でございますけれども、こちらに関しては3年間を通しての様々なジャンルの読物が充実していると感じまして、偏りが無いなと思いました。また、二次元コードが一番よかったですね。これを使って自学できる教材が豊富で、効果的に活用されているなと思います。昨今では、自宅で学習することを余儀なくされる環境にある中で、例えば古文や漢詩をQRコードを読み取って聞くことができることは大変大きなこ

とだなと感じました。また、光村図書出版は巻末の資料が充実しており、本文から資料への導入があって、とても活用しやすいのではないかと、子どもが自分で学習しようと思ったときに進めることができるものだなと感じました。

よって、国語に関しましては、光村図書出版の教科用図書を使用するのが私は子どもたちにとって良いと思いました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

4人の委員さんからの意見を聞きました。私も、4社を比べますと光村図書が全体的によろしいのではないかなと思いました。特に印象に残っている巻頭の詩があります。中学1年生は谷川俊太郎さんの「朝のリレー」、2年生が牟礼慶子さんの「見えないだけ」、3年生が長田弘さんの「世界はうつくしいと」、それと巻末の言葉を味わうということで、1年生が時を表す言葉、2年生が色の名前、3年生が季節の言葉と、この巻頭、巻末が非常に印象深く、生徒の国語への興味、また感受性に訴える工夫があるなど高い評価をしたところでございます。

そのほかでは、少し触れておきたいのですけれども、教育出版が持続可能な開発いわゆるSDGs、これに関して1年生から3年生まで3年間にわたって、目標であります17項目について、それぞれ考えさせる課題を取り上げておりました。この点については、私は教育出版さんにはいい評価を与えたいなと思っております。

しかしながら、光村図書がふさわしいです。

それでは、皆様の意見をまとめたいと思います。

国語につきましては、光村図書を採択することに異議はございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、国語につきましては、光村図書に決定をいたしました。

次に、書写につきまして審議会の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

書写の審議結果について報告いたします。

書写の教科用図書は、4社から発行されており、現在採択されている教科用図書は教育出版になります。

審議会において特に評価の高かったものは、教育出版、光村図書出版です。

教育出版は、筆順や運筆等の学習のポイントが分かりやすく示されており、生徒が確認しながら主体的に学習できる内容になっていること、お手本に朱墨が分かりやすく使用され、生徒の学びが深まる工夫がされているという点で評価されました。

光村図書出版は、目標と学習の振り返りが明示されており、生徒が主体的に取り組める内容になっていること、朱墨のお手本が掲載されており、生徒の学びが深まる工夫がされているという点で評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

資料の説明が終わりました。

これより委員の皆様からのご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私は、今、評価が高かった教科書でよろしいのかなと。4社の教科書を拝見いたしましたけれども、教育出版は学習の目標と流れが明確になっていること、それからとても大事な基本的な姿勢、あるいは筆の持ち方、毛筆の筆先の筆圧などを意識させるような工夫が基本事項に沿った形で、大変分かりやすく示されていたと思います。表現あるいは表記を見てみますと、毛筆の薄墨のところの手本の運筆などから筆順がはっきりと現れていたり、あるいは朱墨による添削なども大変理解しやすいと感じました。

したがって、子どもたちが主体的に書写に取り組む時には、かなり参考になるのではないかなと思います。そして、3年間の学習内容は学年に応じているが、適度に学年が進むに従って難易度が上がってくる構成、内容となっていて、大変使いやすい、そして資料も充実していることから、私は教育出版を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も教育出版がふさわしいと思います。今の説明と少しかぶってしまうところがありますが、巻頭に書く時の姿勢や用具の使い方がとても大きく表記され、分かりやすく思いました。また、写真やイラストなどがふんだんに使われていて、生徒の興味や関心を高める工夫が感じられます。

そして、「書式の教室」というところがあるのですが、そこでは手紙や、はがき、包み紙などから入学願書の書き方まで、学習した内容をその後の日常生活や実社会に生かしていくような実践例が随所に見られ、将来にわたって活用できる内容になっていると思いました。

以上のことから教育出版がふさわしいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの皆さん、いかがでしょう。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私も、同じく教育出版が適していると感じております。特にやはり文字、書写というぐらいいで、本来書き写すという部分があるかと思いますが、その時にお手本となるものは教科書です。大変分かりやすく朱筆で書かれているものが、もちろん運筆もですが、筆圧もよく表現されていて、どのように筆を伸ばしていくか、次にどこに行くからこうい

うふうにはらうんだということが大変分かりやすく書かれている図書だなどと思ひまして、私も使いたいと思うぐらいでした。大変いいなと思ひました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員、いかがですか。

委員（小西フミ子君）

私も、田野倉委員がお話しされたとおり、生活に役立つことまで全て出ているのを見ましたので、教育出版を選びました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

先ほどの坂谷委員のご意見にもありましたように、文字というものは手本を見て、いかにまねるか、これが上達の基本だと思っておりますし、近道であります。そういう点で教育出版の内容、いわゆる筆順、運筆等、本当に学習のポイントが明快に示されておりまして、生徒にとっては学びやすいと思ひました。私も教育出版を採択したいと思ひます。

それでは、書写については教育出版を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

書写につきましては、教育出版に決定をいたします。

続きまして、社会の地理的分野に事務局から説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

社会の地理的分野の審議結果について報告いたします。

地理的分野の教科用図書は4社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったのは、東京書籍、帝国書院です。

東京書籍は、資料を読み取る視点が明示され、生徒の主体的なテーマ設定を促す工夫や思考力を高める工夫がされていること、学習の目当てがつかみやすい表記になっていること、写真等が鮮明で、学習の導入に使いやすく、活用しやすい巻頭、巻末資料が掲載されているという点で評価されました。

帝国書院は、学びの方法が記載されており、生徒が学習しやすいこと、節の学習を振り返ろうでまとめが主体的に行うことができること、写真や地図等が充実しており、思考を深めることができるという点で評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

事務局から審議会資料等の説明が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。いかがでしょう。

坂谷委員

委員（坂谷充孝君）

社会、地理分野についてです。帝国書院の教科用図書を見たときに、巻頭にSDGsの17の目標を解説していて、今世界的に取り組む事項を第1に挙げている点、これからの子どもたちに必要な部分であると思います。大変好感が持てました。

また、東京書籍、こちらは新しい社会、地理です。ページごとに確認するチェックポイントや考察のポイントが書かれており、子どもたちが大変自覚をしやすいものだと感じました。また、イラストの色分けや配置がとても見やすいものでした。全体的にグラフや表の配色が分かりやすく、こういったグラフや表は比較して見るものだと思いますが、大変比較がしやすいものだと感じました。総括やまとめを子どもたちが主体的にできるような問いかけが随所にあって、子どもが意欲的に取り組みやすい教科用図書だと感じました。

以上の理由から、地理につきましては東京書籍の教科用図書を推薦したいと思います。以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、社会の地理については東京書籍がいいと思いました。各章の最初に小学校での既習事項の確認があるため、スムーズに中学の学習に適応できるように配慮されていると思います。見開き2ページが1単元となっているので学びやすく、また、授業のねらいが明確で、学習の目標が分かりやすくなっています。本編以外に様々なコラムがあって、生徒の興味を引く構成になっています。「スキルアップ」は、地理の学習を進める上での基礎的、基本的な技能を身につけることができ、「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、グループで協力しながら取り組む対話的な活動を促すようになっています。「地理にアクセス」というコーナーでは、学習を深める内容を取り扱っています。また、各章の終わりには「まとめの活動」や「基礎・基本のまとめ」があり、振り返り学習ができる構成となっています。使われている写真やイラストもきれいで、効果的に思いました。巻末には、用語解説や索引のほかに世界の国々のあらし、日本の都道府県のあらしが掲載されていて、統計資料の文字も大きめで見やすく、非常に活用しやすいと思いました。

以上のことから東京書籍がふさわしいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、この地理の4社の教科書を拝見する中で、東京書籍と教育出版の2社に絞って検討をしてみました。結論から申し上げますと、東京書籍を推薦したいと思います。まず第1に、生徒の学び、主体的・対話的で深い学びについて現在の課題となります持続可能な社会形成の実現に向けて、未来を切り開く力の育成を図るという構造が大事だろうと思わ

れます。内容的には、紙面、内容等あるいは資料が大変大きくて見やすいと印象です。

そうした中、単元のまとまりを通した創造化が図られているといたしますか、初めに単元課題を立てさせて、把握させる。次には単位時間によるところの学習課題と、それからチェック・アンド・トライ、これが中心にしたところの課題追究がなされているという点で、大変学びやすいのではないかと思います。それと、例えば小学校との連携、子どもたちが小学生から中学生に上がりますけれども、小学校で履修した学習の振り返り課題の導入活動が記載されており、小学校で学習した資料や言葉がそこに示され、あるいは共同学習コーナーではみんなでチャレンジなどが新設されていて、効果的な対話的形式の授業が使われるのではないかと思います。

そして、最後になりますけれども、この地理の学習を通じて他教科とつなげて学びを深めるというようなDマークコンテンツを表示、活用できることであったり、それからこれから採択になりますが、歴史、それから公民のページに直接リンクした二次元コードを活用できるデジタルコンテンツが大変充実した教科書だろうと思います。活用中の教科書が随時見られる配慮がなされていることで、東京書籍を挙げたいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、結論は東京書籍を選びました。私は見比べるときに、地理より歴史を先に見ていました。その時東京書籍の内容がとても良いけれども、この歴史は地理と関係するなと思いついて、後から地理を見ました。QRコードなど色々出ていて、やっぱり領土をめぐる問題についての記述がとても丁寧であったことと、それから将来のために解決策を提案する方法など話し合うきっかけを作っていること等、学びやすいと思いました。そのため東京書籍を私は選びました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私の意見ですけれども、実はこの審議会の資料が出てくる前までは、私は教育出版がいいのではないかなと思いました。それはなぜかといいますと、まず巻頭に地理とは何か、何のために地理を学ぶのかということを確認して示しており、生徒にとって理解しやすいのではないかと、また小学校の社会科から中学校で地理、歴史、公民を学ぶ流れが説明してありました。そういう点では中学1年生になった時の地理ですから、分かりやすい導入になっているという評価だったのですけれども、審議会資料の点を見ますと、東京書籍の4点があったので、それを参考に改めて東京書籍を見直しますと、なるほどなとなりました。私としては、本当に甲乙つけ難いと思いますが、他の委員さんのご意見にもありますように、東京書籍でよろしいのではないかと評価でございます。

それでは、皆さんの意見をまとめさせていただきます。社会の地理的分野につきましては、東京書籍を採択することに異議はございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

では、地理的分野につきましては、東京書籍に決定をいたします。

次に、社会、歴史的分野について審議会の報告をお願いをいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

社会の歴史的分野の審議結果について報告いたします。

歴史的分野の教科用図書は、7社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、教育出版、学び舎です。

東京書籍は、授業のねらいが最初に示されており、導入がしやすいこと、資料を読み取る視点や考える視点が示されており、生徒は学びやすいこと、小單元ごとに考える課題が設定されており、思考が深まる内容になっているという点で評価されました。

教育出版は、探究的なコラムが掲載され、学習課題の表現に興味、関心を持たせる工夫がされていること、写真、図の量が豊富であり、特に巻頭の歴史一覧のページでは写真つきで歴史の流れがつかみやすいという点で評価されました。

学び舎は、資料が豊富であり、生徒の興味、関心が高まる工夫がされていること、章ごとのまとめが分かりやすく、生徒の復習に活用できるという点で評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の資料の説明が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。いかがでしょうか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

歴史につきましては、先ほど地理の時に申し上げましたけれども、いつどこで何が起きたか、地理と連動しているものだと思います。なので、私は東京書籍にしました。

それで、今回思ったことですが、私たちの時代の歴史の授業のときに例えば鎌倉幕府の設立については「1192いいくに鎌倉」とか、大化の改新は645年などと習っていたのですが、いつからか1185年に鎌倉幕府は変わっていました。私無知なもので分からなかったのですが、そのように年数も変わってしまったものは、今でも多分大多数の往年の教育を受けた人たちは「1192いいくに鎌倉」と思っていると思います。そのような時にアンケートで展示会に来てくださった人たちの年齢からみても、例えば学業を終えてからそれほど経っていない人は、在学中はその時に与えられていた教科書しか経験がないし、ほかの教科書がどんな内容のものなのか分からないと思います。そう考えると、まだお若い方たちの記憶が新鮮なうちに、展示会に足を運んでもらってこっちのほうが読みやすい、このほうが分かりやすいという、より細かい目で、分かりやすい教科書について意見をいただけるのではないかなと思いました。そのようなことが気になったので、展示期間につ

いても一般の人に広く宣伝して、興味があったら若い方たちもたくさん来ていただきたいなという、そしてこういう採択の時の参考にさせていただきたいなと思いました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

社会の教科書は7社から出ていて、それぞれ非常に特徴があるように感じました。アンケートでは市民の方々から、あきる野の子ども達にぜひ五日市憲法について学んでほしいということで、学び舎を推している声が多かったように思います。確かに学び舎、新しい教科書だなと思います。サイズも大判ですし、ちょっとインパクトがある写真やタイトルを使って、子どもたちに興味を持たせるような工夫が随所に見られました。五日市憲法については全ての教科書の中で一番詳しく取り上げていて、本編見開きの2ページの紙面を割いて、非常に丁寧に扱っていただいているのはすごくうれしく思いました。

東京書籍ですが、巻頭にやはりなぜ歴史を学ぶのか、歴史を捉える見方や考え方などが書かれていて、導入としては非常に適していると思いました。構成は、地理や公民と同様に見開きになっていて、授業のねらいが提示してあり、学習の目標がつかみやすいという利点があります。また、様々なコーナー、「スキルアップ」や「みんなでチャレンジ」、「歴史にアクセス」といったコーナーで生徒の意欲や関心を高めつつ、基礎、基本技能が身につけられるように、よく工夫されていると思いました。ただ、東京書籍の中では五日市憲法の扱いが非常に小さくて、一部を要約したちょっとしたコラムが掲載されているだけというのが私にとっては非常に物足りないなと感じます。しかし、総合的に判断すると東京書籍がふさわしいのではないかと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

他の教育委員さんと同じような感想もある中で、この推薦基準の主体の、特に地理のところでも申しあげましたけれども、現在の課題というのは未来を切り開く力、こういう力を育成する必要があるという観点から、生徒の学習に迫る教科書があるかという見方をしてみました。さらに、小学校で履修した歴史では人物や文化財を中心に学んできましたけれども、中学校では世界の中の日本と、日本の歴史をさらに学ばせるためには、本教科書である東京書籍は、紙面、レイアウト、資料等が大変多くて見やすいという印象を受けました。また、単元のまとまりを重視した教科書の紙面構成となっておりまして、探究課題、学習課題等、これらがまとめの構造化として図られているのではないかと思います。

それから、歴史年表では小学校で履修し、習った言葉も掲載されて、振り返り課題を捉える導入学習活動が挙げられている点に、とても好感が持てました。先ほど五日市憲法草案のお話が出ておりましたけれども、あきる野市の地域の歴史あるいは文化的な特色であ

る五日市憲法草案が記載してある教科書もありましたが、東京書籍を含め非常に簡単に表記されているので、田野倉委員が話したように、私も少し不満が残っております。なぜかといいますと、あきる野の子どもたちの教育ですから、子どもたちにもそのアイデンティティを身につけるという上でも、ぜひ子どもたちに丁寧に伝えていきたい学習であります。その点、学び舎が大変丁寧に書かれていました。また、他の教科書については、武蔵野地区といいますか多摩地区の資料等もやはり学び舎のほうが豊富に取り上げられておりますので、その点では使ってみたい教科書の一つと私は感じました。

そのほか、先ほど地理でも申し上げましたが、地理や公民の学習とこの歴史の学習がつながりがあるということで、関連マークが記入されておりましたので、これなどは大変有効に活用できるのではないかと、そんな観点から東京書籍を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

先ほどお話に出ています五日市憲法草案の取扱についてはやはり学び舎の教科用図書がすごく丁寧に取り扱っている点、五日市、あきる野の子どもたちが僕たちの地元から自由民権運動、そういったものが声を上げたことがアイデンティティだと確認できる資料としていいなと思ったところです。また、平和教育についても、学び舎はかなり丁寧に記載されていて、そういったところを子どもたちが学ぶ、身につけた上で国際平和につなげていく人間に育てるという、全ての教育に感じたところです。

また、教育出版のお話も出ていました。教育出版は特に多摩地域における自由民権運動の取扱が非常に多く書面に挙げられているように、ポイントというところで学び舎さん、教育出版さん優れているところがあるわけですが、この社会科というものを丹治委員からもありました横断的な学習というところを考えてみますと、無視できないものがありました。ほかの教科もそうですけれども、それぞれの単元がばらばらにあるわけではなくて、繋げて考えていくという力を子どもたちは持つことが必要だと感じます。

東京書籍の教科用図書を拝見いたしますと、ページの下段には年表時系列があって、大きな大きな歴史の流れの中で、今自分はどこを学習しているのかを感じながら、学ぶことができるものとなっています。また、チェック・アンド・トライの項目があり、学習の深みを持たせ、また発展させるところまで考えられています。もちろんキーワードに関連するページづけ、同じキーワードについて、ほかに関連した項目がどこにあるかが文章で書かれていて、そういった1つの教科書の中でも横断的に学習をすることができものとなっており、全体的な大きな流れの中でのまとまりもある教科書として東京書籍が出来上がっていると感じまして、私は東京書籍を推したいと感じます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

それでは、私からの意見になりますけれども、歴史といいますと、どうしても五日市憲

法草案の扱いがあきる野市の場合は比重が高いと思います。そういう点で学び舎の扱いは、非常に好感が持てました。7社のうち6社が五日市憲法草案について表記をしていますが、濃淡あります。そういう中で、この五日市憲法そのものを全国の中学生が学ぶということに対して、本当に大変うれしく思う次第であります。

ただ、教科書の採択という視点で、私は東京書籍の本全体を見ますと、写真だとか挿絵、図表の扱い、非常にバランスよく配置されております。また、巻頭を見ると歴史を学ぶというところがSDGsの視点で取り上げている点も評価を高くしたものでございます。審議会の結果についても東京書籍が高い評価を得ていることから、私も最終的には東京書籍を推したいと思います。

様々なご意見をいただきました。市民の皆様の意見の中で教科書としてどうなのかと、課題があるという意見があった育鵬社、私も市民の皆様の意見を読んで改めて見直しました。確かに教科書としてはどうかなと私も感じました。1点挙げますと、神話に見る我が国の誕生物語という段がございまして、そこでは三種の神器、神武天皇の誕生と建国記念日、そういったものが表記されておりました。物語としては確かに興味を引く内容ですが、それを中学生の教科書としてはどうかなと私も感じたところでございます。これは感想でございます。

それでは、ここで皆様の意見を取りまとめたいと思います。

社会、歴史的分野につきましては、東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、歴史的分野につきましては、東京書籍に決定をいたします。

次に、社会の公民的分野について、審議会結果の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

社会の公民的分野の審議結果について報告いたします。

公民的分野の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、教育出版です。

東京書籍は、取り扱う内容が身近なものから政治、経済、国際問題へと広げる配列になっていること、振り返りを行うなどが設定されており、学習内容の定着を図ることができるよう考慮されていること、写真や図表がバランスよく配分されているという点で評価されました。

教育出版は、基礎的、基本的な学習内容の定着を図る工夫がされていること、身近な問題から世界の問題へと徐々に視野を広げる構成であること、巻頭、巻末資料が豊富であるという点で評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にしていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会資料の報告が終わりました。

これより委員の皆様のご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

この公民につきましては、6社ですけれども、それぞれ拝見する中で、私は結論から申し上げますと、東京書籍を挙げたいと思います。特に本編が見開き2ページを1単元時間として作成されていて、平易で具体的な表現で記述されています。単元のまとまりを重視した紙面構成となっていて、大変使いやすいのではないかと感じました。各学習では、見方、考え方を働かせて、その課題を捉えるという導入の活動や学習への興味、関心を高めるための大きなイラストや資料が多数掲載されており、場面設定の理解が大変しやすいのではないかと思います。また、見方、考え方を働かせる工夫としてマークを明示するなど、学習意欲が高まるような工夫が見られました。さらに、問いの構造図を視覚的に示し、単元のまとまりから深い学びにつながる単元を通した問いが設定されておりまして、探究課題の設定が解決に至る流れをつくっている教科書と思いました。この問いを軸に、1時間ごとの学習の目当てである学習課題を明記しながら、基礎、基本を確認するチェックとトライの2段階の問いが、抽象的な表現や巻末に用語解説のノートで確実に理解できるような工夫が見られました。

それから、小学校の学習との系統的な接続を図るという点では、小学校からの学習を振り返る学習場面を設けまして、学習確認ができる内容となっていました。あとはデジタル教材の活用の中で、今度は地理と歴史の学習と常につながりがある内容、分野関連マークが表記されていて、二次元コードを読み取ると地理や歴史の関連ページ、そういう紙面を直接見られるという関連性もありますので、私としては東京書籍を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかに委員さん、いかがでしょうか。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

選定審議会の資料からも東京書籍が一番高い評価を受けており、丹治先生がおっしゃられたように、すごくバランスのとれた、いい教科書だなと思いました。ただ、1つ気になったのは、行政の仕組みと内閣という単元で、内閣総理大臣の仕事と活動、1日にどういった仕事をしているかが具体例を挙げて紹介されています。その中で安倍総理のかなりアップの写真が5枚ぐらい掲載されていたので、現職の方の写真をこんなにたくさん載せてしまっているのかなということが少し気になりました。

審議会の資料の中では、それほど評価が高くなかったですが、私個人的には帝国書院が非常に印象に残りました。各部の導入という学習の前にイラストクイズがありますが、小学校からの接続も図られていて、生徒が興味、関心を持って取り組める内容となっています。また、本編も見開き2ページ、1時間の構成で、分かりやすく、学習課題も明示されているので、学びを深められるようになっています。内容的にも身近な題材を取り上げて

いて、文字も読みやすく、分かりやすい表現になっていると感じました。個人的には、「先輩たちの選択」というコラムの中で、実社会で活躍されている方のインタビューが掲載されていて、中学生がこれから自分の将来、キャリアデザインを考える上で非常に興味深い内容かなと思いましたので、個人的には帝国書院がふさわしいのではないかと考えています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

公民についてです。歴史の際にも申しましたが、地理、歴史と社会でつながってきたものを踏まえた集大成としての公民と捉えて、教科用図書を拝見いたしました。結論から申し上げますと、東京書籍がよいなと思っていますところ。全体の学習テーマとして持続可能な社会へのアプローチを据えて、中学生に身近な話題から政治、経済、国際問題と広げる作りとなっています。単にいきなりSDGsと色々な問題をぱっと出されても、そういう問題があるんだと認識はできるけれども、やはり身近なところからその問題にアプローチしていくことが子どもたちにとって大切であろうと感じました。ただ、イラストや写真によって、よく内容を把握できるように、各所に学んだことから考察して、振り返るように工夫されており、学習の定着が期待できると思いました。先ほどの地理、歴史と東京書籍さんが採択されまして、その教科用図書もそうですけれども、各ページごとにチェックポイント、考察のポイントが書かれていて、子どもたちが授業でないときも自覚をしやすいものだと感じまして、東京書籍を推薦したいと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、選定資料審議会資料を参考にさせていただきました。どの教科書も写真がとてもたくさんありまして、私は迷いました。でも、やはり全体的に地理、歴史に合わせて公民も私は東京書籍がよいのではないかと思いました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、結論的には東京書籍がいいなと思います。全体通して読みやすいことと、その流れが身近な話題から政治、経済、国際問題と広がっていく構成になっている。それともう一つ、社会への参加では中学生の例が取り上げられております。自分事という捉え方で学べるのではないかなと思い、東京書籍を推したいなと思います。

田野倉委員はいかがでしょう。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

はい。しかし、東京書籍も非常によく作られている良い教科書だと思いますので、東京書籍にしたいと思います。

教育長（私市 豊君）

よろしいですか。それでは、社会、公民的分野を取りまとめます。公民的分野は、東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、公民的分野は東京書籍に決定をいたします

次に、社会、地図帳について審議会の報告をお願いします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

社会の地図の審議結果について報告いたします。

地図の教科用図書は、2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は帝国書院です。

帝国書院は、地図の色彩が鮮やかで視覚的に見やすく、振り仮名も読みやすく記載されていること、指導に活用できる統計が充実していること、サイズがA4判で大きく、読みやすくなっているという点が評価されました。

東京書籍は、資料掲載の陸地と海が立体的に示されており、見やすくなっていること、生徒の興味、関心を高める写真が多用されていること、巻末の資料が豊富であるという点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会資料の説明が終わりました。

委員の皆様からのご意見をお願いします。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

地図について申し上げます。私は、帝国書院を推薦したいと存じます。まず、大きさが違います。地図というものを中学生で使うに当たり、小さくて携帯性を求めるよりは、大きなもので自分が目当てにしているものを見つけやすく、表や資料の見やすいものを使うほうが大事とまず思いました。また、大変色彩が鮮やかで、私にとっては帝国書院のほうが文字が読みやすいなと感じました。二次元コードからサイトに飛びまして、地域の特性の紹介や動画の視聴であったり、クイズ形式で楽しみながら学ぶコンテンツがありました。私も試してみたのですが、都道府県のクイズがありまして、楽しみながら知識を深めることができる、なかなかよいものだなと感じました。こういったものを活用しながら、日本、世界について子どもたちが知識を深めていっていただきたいなと思ひまして、私は帝国書院を推薦したいと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、帝国書院です。坂谷先生がお話しされたことと全く同じですが、表記の仕方、表現が読みやすいこと、色使いもとてもきれいに目に入ってきます。QRコードでのクイズに当たるとピンポンとチャイムが鳴ったり、特産品が出てきたり、ゲーム感覚で覚えられる、そんなところから見やすい、楽しい帝国書院を選びました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、結論から申し上げて帝国書院を推薦したいと思います。A4判見開き2ページの中に多くの情報が集積されて、大変データが見やすく、生徒に考察させる上で適切だろうと思います。また、内容的にはルビなども振ってあり、大要がつかみやすい教科書になっているのではないかと思います。それから、近隣の国々との位置関係、特に北方領土については、日本とロシア、それぞれの国境の変遷について表記されてありました。それから、竹島、尖閣などの写真なども掲載されておりまして、日本の領域を正しく捉えられるよう、国ごとに色分け地図が記載されておりまして、もちろん排他的経済水域の範囲や、日本の東西南北の範囲、写真が設けられて、日本の領土を正しく理解できる配慮がある地図で、大変分かりやすい地図になっています。その意味で、帝国書院を推薦したいと思います。以上です。

教育長（私市 豊君）

田野倉委員、いかがでしょう。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も結論から言いますと、帝国書院がふさわしいと思いました。

東京書籍も非常に淡い色調で落ち着いていて、見やすいとは思いましたが、索引の字が小さくて薄く感じました。中学生には見にくいことはないかもしれませんが、私には少し字が読み取りづらいなと感じました。巻頭でSDGsについて触れている点は非常に評価したいと思います。

帝国書院ですが、やはり皆さんおっしゃっているように、大判なので、文字も読み取りやすいですし、分かりやすい内容になっていると感じます。また、地球全体についての大きさや経度、緯度などについて触れていることも非常に良いと思います。以上のことから帝国書院のほうがふさわしいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、帝国書院がよろしいかなと思いました。この地図帳は、学校の授業だけではなく、社会の様々な出来事があるときに見る機会があると思います。ですから、何よりも見やすいことは大事なかなと。そういう点で帝国書院、色彩も鮮やかで見やすいし、また地図以外のデータ資料も非常に充実していると思ひまして、帝国書院を推したいと思ひます。

それでは、皆様の意見をいただきまして、地図帳については帝国書院を採択することに

異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、地図帳につきましては、帝国書院に決定をいたします。

続きまして、数学について審議会の結果について報告をお願いします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

数学の審議結果について報告いたします。

数学の教科用図書は、7社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、大日本図書、新興出版社啓林館、数研出版です。

東京書籍は、学習内容ごとに見通しが示されており、生徒が学習に取り組みやすい工夫がされていること、学習段階に合わせた演習問題が豊富にあり、基礎、基本の定着が図られること、どの習熟度の生徒でも取り組める例題、類題が充実しているという点が評価されました。

大日本図書は、学習内容ごとにねらいが示されており、生徒が学習に取り組みやすいこと、基礎的、基本的な演習問題、まとめの問題、発展的な問題が十分に用意されているという点が評価されました。

新興出版社啓林館は、身近な生活が数学と密接に関わり合っていることを各単元の初めに紹介し、生徒の興味、関心を高める工夫がされていること、具体例が豊富で基礎的な内容から発展的な内容まで網羅されており、発達段階に合わせて指導できるようになっているという点が評価されました。

数研出版は、身近にある具体的な場面を用いた導入や別冊の探究ノートの活用により、主体的な学習を促す工夫がされていること、図表や立体等が精選され、見やすい表記になっているという点が評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の資料の報告が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私は、この7社の教科書を拝見してみますと、どの社も大変な工夫が凝らされていて、生徒が分かりやすい教材が吟味されて挙げられていました。そのような7社の教科書でしたが、全体的に私はまず生徒の算数から数学への学習間のギャップをどのように解消するのか、小中学校の円滑な接続を図る内容になっているのかどうか、それから大変個人差が出やすいこの算数のつまずきにどういう対応をしているのかということで見ても、

ちょっと確認、あるいは学びのつながり、これは算数ですが、記載がありました。

そういった意味で、小学校、中学校の9年間を通した思考力や表現力を育むように構成され、学習課題の内容ごとに見通しが示されておりまして、生徒が大変学習に取り組みやすい工夫をされていると感じました。特に段階を踏んだ演習問題が大変豊富で、基礎、基本の定着を図るための工夫が図られておりまして、3年次には数学の窓や数学の自由研究として、高等学校の学習にもつながる、そういう考慮や配慮もしている教科書でした。

それから、主体的・対話的で深い学びの視点からは、質の高い数学的活動が後々行えるように、問題解決型の授業を通して深い学びの提示、あるいは生徒が考え、表現するノートの例を示した数学マイノートが設定されておりまして、自分の考えだけではなくて級友の考え方を知ったり、あるいは問題解決のための気づきや振り返りを書く習慣が身につけられるような学習の配慮もしてありました。そのほか幾つかありますけれども、私は以上のことから東京書籍を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さん、いかがですか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

数学についてですが、小学校から中学校に、つまり算数から数学にと、今まではそのような数がなかったのに突然出てくる数がマイナスです。パラダイムチェンジのような、子どもたちにとってそのようなものであるかなと思うところですが、その部分について小学校までやってきたことから、中学校の数学というものに入っていき当たって、丁寧に説明されているのは東京書籍だと感じました。かなり丁寧に学習できると感じます。キャラクターを使用している点、数字の羅列がばあつとあるものということに関して、抵抗を持たないような配慮がされていて、受入れやすいのではないかなと感じます。また、各章、各節の初めにある振り返りや導入、課題がイラストを交えて書かれている点、巻末にはこれは立体を考えたときのものだと思いますが、組み立て模型がついていて、関心を数学に向けるという点で非常によいのではないかと感じました。

以上の点から、数学に関しては東京書籍を推薦したいと感じます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

今お二人の委員からは、東京書籍がいいのではないかというお話がありましたが、私は大日本図書が良いと思いました。大日本図書は、各章の導入で写真やイラストなどが使われていて、生徒の興味や関心を高める工夫がされています。1時間の学習内容が見開き1ページにまとめられ、めあてや重要事項が赤枠で囲まれていて、非常に分かりやすい表記

になっています。身近にある具体的な場面での導入も多く、学習の見通しや発想の手助けをする工夫がなされていると思います。また、基礎的、基本的な演習問題から発展的な問題まで、十分な問題量が用意されていて、巻末には課題学習あるいは前年度の復習問題、総合問題など、生徒それぞれの能力に応じて、自分で主体的に学習に取り組めるような工夫が感じられました。

以上のことから大日本図書がふさわしいのではないかと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、自分が数学は苦手でした。どの教科書も大体中身は同じようなものが出ていますが、英語や数学は基礎がとても大事だと思います。その点、東京書籍はその基礎にとっても力を入れているなど感じまして、演習問題がとてもたくさんあり、繰り返し繰り返し練習できる、身につけるという最初が肝腎という意識を感じたので、私は東京書籍を選びました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、東京書籍で、導入部が非常に丁寧で、数学という教科に入りやすい。恐らく数学嫌いにならないように、工夫がされているなという印象がありました。審議会資料にもありますように、演習問題が豊富で、基礎、基本の定着が図れる工夫がされているところを評価しております。

もう一社挙げるとしますと、田野倉職務代理者と同じように、私も大日本図書の中学1年生の数学の導入が、小学校の振り返りの工夫がされているという印象がありました。そういう点で評価はするのですが、最終的には東京書籍を推したいと思います。

田野倉委員さんはいかがでしょう。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

東京書籍が良いと思います。

教育長（私市 豊君）

それでは、取りまとめをいたしますと、数学につきましては東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、数学につきましては東京書籍に決定をいたします。

次に、理科に移りますが、理科が終わったら休憩をしたいと思います。

それでは、理科の審議会の結果報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

理科の審議結果について報告いたします。

理科の教科用図書は、5社から発行されており、現在採択されている教科用図書は、東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館です。

東京書籍は、地域の教材を取り上げ、興味、関心を引くとともに、思考力を高める工夫が取り込まれていること、環境問題や防災対策に対応していること、教科書のサイズが大きく、見やすいという点で評価されました。

学校図書は、基礎的、基本的な演習問題が多く、基礎学力が高まるようになっていること、分かりやすい表現が使われており、理科が得意でない生徒も取り組みやすくなっているという点が評価されました。

新興出版社啓林館は、具体的な生活場面を課題設定に提示していること、書き込み欄が設けられており、科学的な思考が身につけられるようになっていること、高等学校への接続を図る発展的な内容が盛り込まれているという点が評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会資料の報告が終わりました。

委員の皆様のご意見を伺います。お願いいたします。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

理科ですが、最初ぱっと見たときは大日本図書の字体が好きです。難しくなさそうな感じで導入されていて、字のサイズも大きくて読みやすい、ほかの教科書は書体や配置がほとんど似ているのですが、こちらの大日本図書はとても見やすい、読みやすい文字でした。ただし、先生方の資料も参考にさせていただいたところ、東京書籍は地域の教材を取り上げ、興味を引く工夫が盛り込まれていました。アンテロープやグランドキャニオンの写真など啓林社などもありましたが、これはなぜ、どうしてという疑問を持つ写真、磁石やイエローストーン、フライカイザーなど微生物によって変化したものなど、単元の最初に出てくる驚きの写真、これは疑問から感動につながり、もっと調べたくなるような気持ちへ誘導しているように思いました。そのほか環境問題や防災対策を取り入れているのはよいと思いました。インデックスもどこよりも大きくて、調べたいときにすぐに関きやすいので、東京書籍を私は選びます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ほかにかがでしよう。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

5社の教科書を拝見する中、結論から申し上げますと、東京書籍を推薦したいと思いま

す。理由としては、巻頭、巻末や単元末、各節の導入部分におきまして、身の回りの事象について考えさせる場面が多く設けられておりました。生徒の興味、関心を高める、そういった意味では生徒自身が主体的に取り組めるような構成になっている教科書ではないかという印象です。そして、自ら進んで学習する意欲を高めるような工夫としては、各節冒頭の問題発見スタートや、あるいは対話的な学びを喚起する対話の具体例が示され、深い学びを実現する科学の見方あるいは活用では学びを生かして考えようということが、適切に配置されておりまして、問題に気づき、目的意識を持って生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫が大変見られました。特につまづきやすい内容では、例題あるいは考え方が丁寧に示されておりまして、生徒自身が自学自習する際につまづきが克服できるように配慮されていると思いました。情報収集が必要な箇所やつまづきやすい学習箇所の学びにつきましても、この教科書の中にDマークを付けて、数多くのデジタルコンテンツやインターネットでの活用事例を参照できるような構成になっているということで、今後ICTの活用を十分にこの教科を通じて図れるのではないかと思います。そのような理由から東京書籍を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

理科については、東京書籍を推薦いたします。こちらはページごとの写真や挿絵を多数使用しておりまして、視覚的な理解のできる内容となっています。内容が理解できた場合実験等々があるわけですが、課題について観察、考察をし、確かめてその考察について修正をして、また確かめて結論づける、そういった学習サイクルが効果的にまとめられている教科書だなと感じました。また、研究者や専門家のコラムが豊富にあり、単なる学問、学びというだけでなく、社会の中に活かされている理科、科学という捉え方がされると感じました。さらに、地球の資源、環境について考え、SDGsへのアプローチを得るところにもなっており、大変共感が持てました。

以上の理由から東京書籍を推薦します。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

東京書籍だけサイズが他の教科書と違って、かなり縦長の大きさになっていて、とても気になりました。確かに大きくなった分、写真やイラストの迫力がありますが、教科書を机の上に広げたときに、すぐに閉じてしまうように感じました。内容的には、非常にいいと思います。掲載されている写真やイラストもきれいですし、生徒の理解を促す工夫が随所に感じられました。防災や自然災害の扱いが大きく、また自然環境の保全や持続可能な社会をつくるためになど、今日的な内容に多くの紙面を割いている点も評価したいと思います。

ます。全体的なことを考えると、東京書籍を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、東京書籍の環境問題、また防災対策の扱い、全体の問題に対しての取組がされている点を非常に評価をしております。また、漫画を使って科学の歴史というのが各学年で取り上げられているので、非常に興味深く読みました。恐らく生徒にやる気を起こさせるきっかけになると評価をしたところでございます。

それでは、委員の皆様の意見を取りまとめたいと思います。理科につきましては、東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、理科につきましては、東京書籍に決定をいたします。

ここで休憩をいたします。あの時計で3時50分から再開でよろしいですか。

それでは、3時50分に再開といたします。

休憩 午後 3時43分

再開 午後 3時50分

教育長（私市 豊君）

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

続きまして、音楽、一般についての審議会の結果報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

音楽、一般の審議結果について報告いたします。

音楽、一般の教科用図書は、2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は教育芸術社です。

教育出版は、鑑賞教材の楽譜が豊富に盛り込まれており、身につけたい力に合わせて活用することができること、題名が大きく、はっきりと掲載されているという点が評価されました。

教育芸術社は、簡潔な分量の中に最適な教材が配列され、授業において計画的、系統的に使用しやすいこと、生徒が楽譜に興味を持てるレイアウトになっている点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の結果報告が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。

田野倉職務代理者。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

私も、教育芸術社がふさわしいと思いました。巻頭目次の次に学習の内容や、目標が示されていて見通しが持ちやすくなっています。また、歌うときの姿勢や指揮の仕方について

でも非常に分かりやすい図と的確な表現で表してあると思います。生徒が集中しやすいレイアウトで書き込めるワークシートなどがあり、主体的に学習に取り組める構成になっています。巻末の音楽の約束では、音楽を学ぶ上で必要な知識がまとめて掲載されており、分かりやすいと思いました。

一方の教育出版社ですが、曲のイメージをつかみやすい写真やイラストを使っており、カラフルであると感じました。1つの曲について数ページにわたり曲の背景などにも踏み込んで説明しているため、逆に言うと情報量が多過ぎて生徒が集中しづらい点もあると危惧されます。また、最後に楽典がまとめられている折込ページがあるのですが、音楽の授業は大体机を使わないで行われることが多いので、折込ページは扱いにくいのではないかと思います。

以上のことから、教育芸術社を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ほかにいかがでしょう。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私も、音楽、一般については教育芸術社を推薦したいと思います。教育芸術社の図書を見たときに、教科を学ぶためだけではなくて、音楽の仕組みや、それによって積み上がる楽しさといったものがよくまとめられている教科書だと感じました。ページを開いたその時点で、楽しみが湧いてくる感じがいたしました。また、リズムについて扱っているところでは、クイズやチャレンジといったゲーム形式で音楽に興味、関心を高める工夫もされています。机上や譜面台に置いたときに、しっかりと開く形になっているので、譜面台などに置く際にはしっかりと開いて置けるものではないと扱いにくいと思いますので、教育芸術社のものが適していると感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

結論から申し上げますと、教育芸術社を推薦したいと思います。内容的に生徒が大変親しみやすい教材が多く取り上げられております。教科書自体が簡潔な分量の中に適切な教材が配置されており、学習のポイントも明示されておりまして、何を学ぶのかが明確であります。それから、学習を進めるに当たっての計画的あるいは系統的に大変使いやすく学習方法が整理されている構成となっているように感じました。音楽に興味を持たせる簡潔な楽譜あるいはレイアウト、基本的にはユニバーサルデザインに基づいたフォントを活用している点で、シンプルなデザインと色使い、写真や挿絵のバランスなど、様々な生徒の実態にも対応した教科書内容になっているのではないかと思います。そのような理由から教育芸術社を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、教育芸術社を推薦します。教育出版は、お琴の譜面などの初めて見るもの、それから2年生ではCMソングをつくろうなど、とても良いことが載っていました。コードネーム表も載っていましたが、ただ私は器楽とまとめて考えてしまったので、やはり色々な楽器に興味を持ち始める中学の頃の教科書としては、教育芸術社を選びます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、審議会資料の中の配列とか分量、また表記、表現の中で特別支援教育への配慮がされている。それから、ユニバーサルデザインに配慮をしている、そういう点が非常に高い評価になっておりますので、教育芸術社を推薦したいと思います。

それでは、音楽、一般につきましては、教育芸術社を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、音楽、一般は教育芸術社に決定をいたします。

続きまして、音楽、器楽合奏について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

音楽、器楽合奏の審議結果について報告いたします。

音楽、器楽合奏の教科用図書は、2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は教育芸術社です。

教育出版は、全体的に彩度が高い色使いとなっており、写真を多用して興味、関心を引く表現になっていること、イラストを使用して問いかけ形式で伝える内容になっているという点が評価されました。

教育芸術社は、見開きページに学習系統、学習内容が一目で分かるようにまとめられており、生徒が見通しを持って学習できること、生徒が譜面に興味を持てるようにレイアウトが工夫されている点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。

田野倉職務代理者。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

私は、器楽合奏も教育芸術社がふさわしいと思いました。審議会資料の使用上の便宜のところに記載されていますが、「机上で広げやすいつくりとなっている」。あるいは、「楽譜を机上や譜面台の上で学習する場面が多くあり、非常に使い勝手がよい製本となっている

る。」このことは実際に曲を演奏する上では非常に重要なことだと思います。また、内容的にも誰もが耳にしたことのあるような楽曲が多く掲載されていて、生徒が興味、関心を持ちやすいとも思いました。

以上のことから教育芸術社がよいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかに。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、教育芸術社です。先ほども申し上げましたが、コードネーム表などがついていて、ギターなどをこの頃覚えると、一生楽しめることになりそうですし、それから読みやすい、見た感じとても分かりやすいことで、例えば生徒たちもそれが何なのだろうと疑問を持って、先生にすぐ聞けるような状態だと思いました。あとQRコードに関しても、その音がちゃんとCはこの音、この和音だという耳でも覚えることができますし、とてもいいと思いました。教育芸術社を推薦します。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

器楽合奏につきましては、教育芸術社を推薦いたします。さっきの一般とも同じになりますが、田野倉委員がおっしゃっている机上や譜面台の上での取り扱いがしやすいことは、教科用図書にとっては、大変重要なことだと感じます。比較といたしますか、教育芸術社のものが幅広く楽器奏法技術を扱っていると思ひまして、各校の実態に合わせて、また生徒の実態に合わせて取り組むことができると感じましたので、教育芸術社を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

丹治委員、いかがでしょう。

委員（丹治 充君）

私も、結論から申し上げますと教育芸術社を推薦したいと思います。何よりも学習内容が一目で分かる構成であるという点では、生徒が学習の見通しを持ちやすい、あるいは立てやすいという点で大変大事だろうという観点から、教育芸術社を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、楽譜を見て学習するには、本当に使い勝手がよい本のつくりになっているので、教育芸術社を推薦したいと思います。

それでは、音楽の器楽合奏につきましては、教育芸術社を採択することに異議ございま

せんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、音楽、器楽合奏は教育芸術社に決定をいたします。

続いて、美術について審議会の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

美術の審議結果について報告いたします。

美術の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は光村図書出版です。

開隆堂出版は、小学校から中学校への系統性を考え、広い視野を意識した内容になっていること、写真がきれいに掲載されている点が評価されました。

光村図書出版は、小学校から中学校へのつながりが分かりやすく解説されており、取り組み方や考え方が見やすく表記されていること、写真や挿絵、図表の扱いが工夫され、効果的に使用されている点が評価されました。

日本文教出版は、学習の目標、取り組み方、考え方が分かりやすく明記されていること、掲載されている生徒の作品が生き生きしていること、有名な絵画が多く取り扱われているという点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様のご意見を伺います。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

例えば日本文教出版さんは、一生に一度は必ず見るであろうという有名な絵画や美術品が載っていました。私は光村図書を選びましたが、美術は昔から美しいと言われるものを知ることは大事ですけれども、既存の作品を見て、これが美しいものだと植えつけられるものではなくて、美しいと感じる心を育てることが大切だと思います。自分の身の回りにあるもの、例えば以前ありましたが、流木で形づくられたもの、大木だったものからきれいな輪っばのお弁当箱、暮らしの中にある流線型の階段の手すりなども見て美しい、心がこもっていると感じる心を養うことが大切だと思います。光村図書は、そういう点を重視しているように思いましたので、光村図書を選びました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、光村図書がふさわしいのではないかと思いました。写真や図が大きく、生徒の興味を引くレイアウトになっています。また、身の回りにあるシンボルマークやピクトグラ

ム、ユニバーサルデザインを多く取り上げていて、日常生活の中にある美術という視点にも焦点を当てています。巻末の「学習を支える資料」では、道具や技法、材料などの特徴が分かりやすく、具体的に説明されていて、非常に使いやすいのではないかと思います。

以上のことから、光村図書を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

美術の教科用図書について、私は光村図書出版と日本文教出版とでどちらがよいかなど考えておりますが、最終的に私は日本文教出版がいいなというところに至っております。どちらも小学校からのつながりを意識しておりまして、挿絵、イラストを交えて取り組みやすくしていたり、そこから美術にもつながり、中学校3年間の内容の見通しを立てています。また、光村図書出版においては、中学生の作品を多く掲載している点は、先ほど小西委員もおっしゃったことにつながってくるかなと思います。美術への導入という形では自分の表現という部分になっていると思います。

ただ、日本文教出版を見てみますと、大変いろんな作品をインパクトのある形で掲載をされています。美術というものにどのような触れ方をしてきたかは、生徒それぞれ違うと思うわけですが、そのときに大きく掲載されている、迫力というものは大きな要素になるのではないかなと思います。これは委員の皆さんご存じの雷神、風神という作品です。小さく出ている、こちらが光村図書で、日本文教出版はこのように大きく出ていると、たまたま同じものがあつたので紹介しました。美術は心を動かすものだと思いますが、その要素として教科書として必要な部分とは、心動かすといった部分では大きくインパクトのある大きさを掲示している日本文教出版が私としてはいいなと強く思うところです。光村図書もすばらしい教科書だと感じています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

丹治委員、いかがですか。

委員（丹治 充君）

まず、光村図書出版は、冒頭に美術って何だろうと、ただ単に絵がうまいとか工作が上手だとかという観点ではないということ述べられていて、ともすると子どもたちはうまい、下手、だから美術が好き、嫌いということにもなってくるのかなと思ったのですが、その辺については小学校からの授業のつながりを大変大事にした内容が網羅されておりまして、目標がはっきりと提示してありました。

その意味では光村図書もすばらしいと思いましたが、一方日本文教出版は発達段階あたりをかなり考慮した表記あるいは表現となっているのかなと、この中で審議会の報告書にもありましたように、生徒の作品が紹介されておりまして、以前ここに西多摩地区の子どもたちの作品が載ったときもありますが、そのような意味では日本文教出版の表紙、各ページと、大変すばらしい教科書の中身で、甲乙つけ難いところが現状です。ただ、総合的に

指導者の先生方からの意見等も考えてみますと、これから美術を真剣に学んでいく中から、美術って何だろうというあたりで、この光村図書出版を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、光村と日本文教出版を比べると、文教出版のほうが本当にインパクトが強いですね。内容で印象深さは、光村のほうが本当に身近なものを扱っているという材料になっています。本当にどっちがいいのだろうと思いますが、最終的には現場の先生方の審議会の資料で、光村図書のほうが若干評価が高いということで、私は光村図書を推薦したいという結論に至っております。

そういうことで、坂谷委員、いかがでしょうか。

委員（坂谷充孝君）

私も先ほど発言したように、若干というところで日本文教出版を推している部分でございますので、光村図書出版でよろしいかと思っております。ありがとうございます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

それでは、美術についての評価をしたいと思っております。美術につきましては、光村図書に決定してよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、美術は光村図書に決定をいたします。

次に、保健体育について審議会報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

保健体育の審議結果について報告いたします。

保健体育の教科用図書は、4社から発行されており、現在採択されている教科用図書は学研教育みらいです。

審議会において特に評価の高かったものは、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいです。

大日本図書は、本文にまとめがあり、学習内容が身につけやすい内容になっていること、セクシャルマイノリティーに触れられている点が評価されました。

大修館書店は、学習のねらい、まとめが分かりやすく明示されていること、各章のまとめがあることで生徒自身が学習に振り返ることができる点が評価されました。

学研教育みらいは、図やグラフ、コラムが分かりやすく、課題を把握しやすいこと、用語の説明が分かりやすく示され、生徒の思考を深めることができること、セクシャルマイノリティーに触れられている点が評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。
委員の皆様のご意見を伺います。
坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

保健体育の教科用図書については、学研教育みらいを推薦いたします。こちらは学習目標に自分の生活を照らして、学習を自分のこととして捉えて、自分の生活に生かすように工夫してつくられています。各章に自身で解決するシート、まとめがあり、復習がしやすく工夫されています。また、近年になって社会的に認知されてきた人権問題や人の多様性について取り上げられ、精神的、身体的に成長するときに、中学生の時期に大変適した教科書だと感じます。保健体育に関するいろいろな情報を教科書下部に情報サブリという小さなコラムのようなところを設けておりまして、思考を深めることができる工夫もされておりまして、以上の理由から学研教育みらいの教科書を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。
小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、学研教育みらいを選びました。これはイラストや写真もバランスよく、どれも丁寧に書いてあり、異性を尊重することや性の問題も書いてあり、どれにするか迷いましたが、学研みらいはLGBTなどの多様性の理解の単元も載せてありました。これは学研みらいと大日本図書、ほかの家庭科にも載せているところがありましたけれども、これはとても大事なことだと思いますので、学研教育みらいを選びました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。
丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、結論から申し上げますと、学研教育みらいを推薦したいと思います。先ほど選定審議会資料の中で紹介されておりましたけれども、全体的にわたって非常に使用しやすい教科書であり、特に巻頭、巻末資料の扱い、これらもやはり適切だと思っております。あとはほかの先生方と同意見ですので、省かせていただきます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、学研教育みらいがふさわしいと思いました。非常にバランスもとれていますし、様々な表現、表記も見やすく、また図やグラフ、円グラフなどが分かりやすく書かれています。

大修館書店で印象に残ったのが、巻頭で「共に生きる」やSDGsなどが取り上げられている点、また感染症などについても紙面を割いて詳しく説明されているところなどは、高く評価したいと思います。しかし、全体的なバランスを見ると学研教育みらいのほうがふさわしいと判断しました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、大修館が感染症では本当に詳しい表示になっていて、今の時代、こういうところをもう少し詳しく表記する必要があるなと思いました。戻って、学研教育みらいのほうでも感染症予防について適切に扱っていると評価いたしましたので、全体的なことから学研教育みらいを推したいと思います。

それでは、保健体育につきましては、学研教育みらいを採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、保健体育については、学研教育みらいに決定をいたします。

次に、技術分野について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

それでは、技術・家庭の技術分野の審議結果について報告いたします。

技術分野の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は開隆堂出版です。

東京書籍は、具体的な事例が多く取り上げられており、学習方法が分かりやすく、生徒が学習内容を習得しやすいこと、作業手順等が分かりやすく表記されており、多くの図や写真が使われているため、生徒が理解しやすい点が評価されました。

教育図書は、扱われている題材が生徒に身近なものになっていること、文字が大きく簡潔で、分かりやすい表記になっており、解説の図や写真が大きくて読みやすい点が評価されました。

開隆堂出版は、具体的な例示があり、本文と写真、図の関係が明確で、生徒が理解しやすいこと、製作の目的や方法は分かりやすく説明されている点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

結論から申し上げます。今回は、東京書籍を推薦したいと思います。先ほど審議会の説明にもありましたように、各表記が幅広く扱われている教科書で、資料の掲載も多くされている、学習の方向が明確に記されていることは大変重要だろうと思いました。それから、

解説情報も十分でありまして、具体的な内容等についての事例が数多く取り上げられていたと思います。特に実技を伴う教科でございますから、そういった中では学習効果が大変分かりやすくして習得しやすいと。実技の中では作業の手順が大変大事ですので、この手順がある意味では安全教育とも重なり合う部分があるかと思えます。その他、多くの図や写真が使われているので、大変見やすくなっていると思えます。特に社会での発展と技術に関するページあたりはかなりページを費やして扱われている教科書と思えます。そのようなことから、東京書籍を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにかがでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、東京書籍がふさわしいのではないかと思いました。まず、巻頭に教科書の構成や学習方法が書かれていて、導入から基本、そして学習のまとめと段階を追って無理なく学べるように工夫されています。巻頭の技術分野のガイダンスというところでは、技術は夢をかなえるためにある、技術の最適化という視点から導入していて、なぜ技術を学ぶのかについて、生徒の理解が深まります。道具の使い方や作業手順などが写真やイラストを使い非常に分かりやすく説明されているため、生徒が実技として使いやすかったです。また、4つの領域もバランスよく構成されています。巻末の資料も非常に充実しています。以上のことから、東京書籍を推したいと思えます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、東京書籍です。3Dプリンターなどで何でも作れる時代になったのは感じますが、これほど技術という科目が多岐にわたって関係していることがとても理解しやすいこと、そして巻頭にありました夢をかなえるためにあるというところを読んだときに、あきる野市の東中なども自動車部があるくらい、動くもの、エンジンなどとても興味があるものが載ってまして、ものづくりが楽しく、何かを作りたくなるという意欲が湧くように思いました。改めて材料加工、生物育成、エネルギー変換、情報技術とか、広い意味でたくさん知ることができたので、東京書籍を挙げました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

技術の教科用図書については東京書籍を推薦いたします。こちら身の回りにある具体的

な事例を多く取り上げられております。作業手順等々につきましては、細かく図や写真を多く用いて、分かりやすく示されております。こういった部分は、予習する際にもかなり子どもたちにとってイメージが取りやすいものだなと感じます。また、振り返り欄では改善、修正から発展した新たな問題の発見というところにもつなげ、あくなき技術の発展を目指すところにまでつなげていることが非常にいいと思います。技術に対する興味、関心を大きく広げられる教科書だと感じました。東京書籍を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

委員の皆様がおっしゃる東京書籍のよい点は、私もそのとおりでなと思います。ただ、開隆堂出版についても、私は評価をしたいなと思います。教科書全体の色使いといいますか、非常に優しくて疲れないなという印象がありました。情報の分野も、優しい表現になっていました。それから、巻末資料や操作の解説、本当に活用しやすいので、甲乙つけ難いなということでしたが、4人の委員さんが東京書籍ですので、私もそれには全然問題ないなと思ひまして、意見をまとめたと思います。

技術分野につきましては、東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

技術分野は東京書籍に決定をいたします。

次に、家庭分野です。審議会の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

技術・家庭の家庭分野の審議結果について報告いたします。

家庭分野の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は開隆堂出版です。

東京書籍は、章や編ごとの重要語句の整理があり、学習の振り返りができること、手順などが写真で効果的に表現されており、図や表が多く掲載されていて、指導が進めやすい点が評価されました。

教育図書は、問題解決的な学習家庭の計画と実践がまとめて表記されていること、実習の手順に言葉だけでなく図を用いて作業内容を確認しやすい標記になっており、図表やイラストの表示が適切で、生徒が理解しやすい点が評価されました。

開隆堂出版は、身近な題材が多く用いられ生徒の主体的な学びを促す課題が設定されていること、LGBTに配慮して男女ともズボンをはいている挿絵が掲載されている点が評価されました。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様のご意見を伺います。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

結論から申し上げます。家庭科も同様に、東京書籍を推薦したいと思います。内容について見てみますと、大変身近な題材が多く用いられていて、生徒の興味、関心が高まるのではないかと考えました。特にガイダンスや問題解決的な学習について例示し、各自の生活と実践例の中で学習できる構成になっていました。学習課題についての重要部分の整理があったり、生徒が学びやすいと思われまます。それから、実習の手順なども写真で効果的に表されていたり、図や表が多く掲載されていて、指導しやすいことが考えられました。それから、既習学習事項などの関連を示すマーク、デジタルコンテンツが大変充実して、広い場面に生かせると考えて東京書籍を推薦いたしました。

ただ、少し不満な点は、この家庭科の中でこれは実践的に、体験的な活動を取り上げている箇所ですが、幼児や高齢者との関わりに関する事項が少ないことです。これからますます高齢社会を迎える中では、そういった点が若干物足りないなという思いがありました。以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さん、いかがでしょう。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

家庭科につきましては、東京書籍を推薦いたします。家庭分野のテーマに自立共生を目指してとして、自らの生活を振り返りながら、自身で実践することを写真を効果的に使い学習できるものとなっています。性別や多様化した家族構成も関係なく、家庭科という分野について学習できる内容となっております。ただ、先ほど丹治先生のおっしゃられた高齢化社会に対する学びという部分が、幼児との関わりに比べて大変少ないなと感じたところがあります。そういった部分につきましては、今後心がけていきたいなと思いますが、全体的に見ますと東京書籍の教科用図書がふさわしいと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、今、開隆堂か東京書籍か迷っています。どれもお料理のメニューや作り方を出されていますけれども、教育図書さんは例えば小麦アレルギーの人のためには代替品を使えるというような、ここではシュウマイの皮の場合に生春巻きの皮を使うとよいなどのアドバイスが書いてあり、このアレルギーの多い時代において、とても親切だなと思いました。そして、開隆堂はハーフパンツの作り方などQRコードの動画になっているので、とても分かりやすいことと、それからLGBTのことについても触れられています。利用率の多いレシピと和服のたたみ方など、東京書籍もとても見やすく、興味が持てるので、とても悩んだのですが、開隆堂のほうが私はいいかなと、東京書籍と本当は甲乙つけにくいですが、開隆堂のほうを選びます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私は東京書籍を推したいと思います。先ほど坂谷委員もおっしゃられていましたが、巻頭のガイダンスで「自立と共生を目指す」という視点でページを割いて、今後3年間の学習の流れを説明していて、導入として非常にいいと思いました。また、小学校の学習との系統性もよく図られています。生徒が書き込めるような箇所も多く、興味を持って主体的に学習に取り組める工夫が見られます。資料や表、写真も多く、効果的に掲載されていて、非常に分かりやすく感じました。巻末に防災・減災手帳というものがあるのですが、これは切り離して、これから先手元で活用していくのにも便利かなと思います。以上のことから東京書籍を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、今田野倉職務代理人が最後におっしゃられました防災・減災手帳をこれは使えるなど、今の災害が多い時代には本当に時宜を得たものかなと、私も東京書籍を推したいというふうに思います。

小西委員は開隆堂ですけども、どうでしょうか。一言何かありますか。

委員（小西フミ子君）

迷ったくらいなので、皆さんと同じ東京書籍で構いません。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

それでは、ご意見をまとめます。家庭分野は、東京書籍を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、家庭分野は東京書籍に決定をいたします。

次に、英語でございます。審議会の結果について報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

英語の審議結果について報告いたします。

英語の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、三省堂、教育出版、新興出版社啓林館です。

三省堂は、文法導入の部分が生徒の実態に合って分かりやすいこと、言語、文化についての題材が豊富で、その国の理解を深めることができること、ペアで英語を話す活動が充実している点が評価されました。

教育出版は、中学生の普段の生活を取り上げていること、巻末に即興のチャットやスピーチの手助けになる教材があること、スピーキング活動にもつながる活動用のカードが附

属している点が評価されました。

新興出版社啓林館は、生徒が日常で使えるような場面を単元として設定していること、基本本文のまとめのページがあり、文法を理解しやすい内容になっていること、ディスカッションに取り組むセクションが設定されており、コミュニケーションを高める授業に向いている点が評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様のご意見を伺います。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

英語については、今年度より小学校5、6年生から英語教育が教科化されていることを受けて、特に中学1年生の教科書の内容が大幅に変更されています。全ての学年で学習事項が前倒しになっているので、今までは中学1年生で初めて英語に触れる教科書として、アルファベットの書き方から始まっていましたが、今回の改訂ではもう既に既習事項として中学1年生の最初からb e動詞と一般動詞が交ざっている内容の教科書も見受けられました。しかし、小学校の英語教育でどこまで文法事項が系列的に定着しているかは、甚だ疑問が残るところであります。日常生活でほとんど英語を使う機会がない本市の子どもたちにとっては、しっかりと基礎から学べ、スモールステップを踏みながら段階的に学習できる、分かりやすい内容のものを選んでいきたいと思いました。

その中で、新興出版社啓林館の「BLUE SKY」が非常に適していると思います。中学1年生の最初の導入部でアルファベットや英語の文の書き方から始まり、b e動詞と一般動詞を別々の単元に分けて基礎から説明しています。また、「ターゲットのまとめ」では、各単元で習う重要な文法事項がしっかりと、分かりやすくまとめられています。一方、「レッツトーク」というコーナーでは、日常生活でよく使われそうな場面を設定し、生徒が興味関心を持ってスピーキング練習ができるように工夫されています。扱っている題材もバラエティーに富んでおり、生徒が興味を持ちやすいと思いました。挿絵もシンプルですっきりとしていて、見やすく感じます。聞く、読む、話す、書くの領域がバランスよく学べるようによく構成されていると思いました。

以上のことから、啓林館を推したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

英語の教科用図書につきましては、新興出版啓林館の「BLUE SKY」を推薦したいと思います。身近な単語、学校で日常使いそうな場面から始まっており、審議会の所見

である野市の生徒に実態に合っているという点、こちらは望ましいと考えます。また、全体的にデザインが落ち着いていて、本文が大変読みやすく感じました。そして、巻末に記述されている和英のようなワードボックスですか、学習を進めていく上で教科書だけでは足りないときに、ぱっと引けるものになっております。特にどのような場面で使う言葉なのかというところでまとめられている点が大変使いやすいものであると感じます。英語という新しいといえますか、言語に抵抗なく学びに入れる教科書だと感じましたので、啓林館を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私は、先ほど審議会報告がありましたが、内容を見ていきますと東京書籍を考えていきたいと思いました。小学校では英語学習から英語科に位置づけられ、あきる野市の小学校では英語嫌いにならず、進んで英語に触れること、それが中学校の英語科学習に生かされていると、そして英語科の連携指標が望まれています。こうした観点から、教科書6社の見本を拝見いたしました。各社様々な工夫と努力があるように取れます。特色のある教科書であるとは思いますが。また、小学校の英語学習と中学校英語との接続指導という観点から拝見いたしました。今も言ったように、小学校は英語科になり、現在の指導要領の移行期に採択されておりました東京書籍の「NEW HORIZON」から、中学校における5領域の聞く、話す、やりとり、発音、読む、書くことの学習がバランス良く移行できる移行期をつくるべきではないかという気がいたしました。また、概要を把握する活動として、小学校の教科の使用する活動を行ってみたい、あるいは聞く場面では目的や状況に合う表現として文法を整理する構成がとられています。かつ巻末には各学期の到達目標を示してありますけれども、明確な到達点に向かって学習が進められるようになっていました。現在の教科書による学習移行も、当然のことながらスムーズに移行できるのではないかと感じました。

それから、構成等が大変似通っているのが新興出版啓林館の「BLUE SKY」であります。日常で使用されそうな場面を単元として設定していたり、基本のもののページが文法が理解しやすいように思いました。そのほか挿絵がシンプルであったりと、大変すっきりしている。本文が非常に読みやすく、ユニバーサルフォントを使用するなどの配慮もこの教科書では見られたと、ディスカッションに取り組むセクションが本教科書では設定されており、国際情報、環境問題に関する題材が自由に扱われておりますので、学習の分量等は適切であると思えます。

こうした似通った2社の教科書を考える中で、今後ますますデジタル教材の活用が図られる中で、やはり日常生活のコンテンツ、資料動画のDマークコンテンツ等、その辺の補助教材の質と量的な活用がしやすいという観点から、私は若干ですけど、東京書籍がよろしいのではないかと考えました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、英語は啓林館と三省堂でとても迷いました。英語に限ったものではないですが、教科書自体に直接シャーペンまたは鉛筆でメモを書く科目については、あまり真っ白過ぎたり、つるつるするような光沢紙だとHBぐらいだとはっきりと印象的に書けなかったり、電気の下で光ってしまっていて見にくくなるなどありますので、紙質についてもこれは大事な事だと思いますので言わせていただきます。さて、啓林館は割と日常的な身の回りの会話などの文を取り入れられていたように思います。

それで、私は細か過ぎるかも知れませんが、啓林館の教科書はほかと比べて、学年にもよりますが、左側に記入するページになっているところが若干多いように感じました。左のページに記入するときに、右利きの人は尺則側、小指のつけ根側がページの折り目に当たって書きにくいのではと思いました。左利きの方にとってはよいのかもしれませんが。それから、三省堂は、とにかく見やすかったです。勉強してみたくなる雰囲気を感じて、英語が好きになるかどうかの導入には、ぎゅうぎゅう押しつけるだけでなく、ほんわかしたイラストの三省堂のほうがよいのかなと、この三省堂と啓林館の内容も、この2社でとても迷いましたけれども、しかし審議会資料を見て参考にしますと、やはり先生方が教えやすいことが一番大事だと思いますので、啓林館を推すことにさせていただきます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、教科書を比較してもどちらがいいのか判断はつきませんでした。この審議会の資料を読んで、啓林館についてはいろんな評価が高い部分がありますが、2つほど印象に残ったのは特別支援の生徒にも分かりやすいと思います。それから、もう一点はあきる野の生徒の実態に合っている、この2つの評価を見て啓林館を採用したいと結論づけました。

丹治委員さんは東京書籍ということですが。

委員（丹治 充君）

結構です。

教育長（私市 豊君）

大丈夫ですか。

委員（丹治 充君）

はい。

教育長（私市 豊君）

それでは、意見の取りまとめをいたします。英語につきましては、新興出版社啓林館を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、英語につきましては新興出版社啓林館に決定をいたします。

最後に、道徳について審議会の結果の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（渡邊啓介君）

特別の教科道徳の審議結果について報告いたします。

特別の教科道徳の教科用図書は、7社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、光村図書出版、日本文教出版です。

東京書籍は、各自の考えや気持ちが2つの楕円で表現できるように工夫されていること、イラストや漫画が多く、生徒が状況を想像しやすいこと、巻頭に1年間で学ぶことがテーマごとに色分けされ、配列が分かりやすい点が評価されました。

光村図書出版は、考えよう、見方を変えて、つなげようの項目が各教材の道徳的価値の自覚がつかまえられるように工夫されていること、臨場感あふれる写真や親しみやすいイラスト、漫画が多く表現されている点が評価されました。

日本文教出版は、身近な教材からグローバルな教材まで幅広く配置されていること、道徳ノートがついており、各学校で学習シートの印刷や道徳用ノートの準備をする必要がなく、生徒が記入することで全ての内容項目の学習状況が把握できる点が評価されました。

そのほかの教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

審議会の報告が終わりました。

委員の皆様からのご意見を伺います。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、道徳は日本文教出版がよいと思いました。別冊がついていることを最初は忘れな
いかなと思いましたが、やはり考えたこと、感じたこと、疑問に思ったことなどはしっかり
その時々自分の心を書きとめるものは、やはり別に手元に置いていたほうがよいと思
いました。内容について個人的には、『役に立つことができるかな』という電車の中で、
障がいの子について考える機会があることなど、これ一つ載せてくれただけでも出版社を
選定したくなるような動機になりました。特別支援が必要な児童生徒が増えている中で、
いかにその子たち個人個人の独特の個性があることで、おかしな子、のように思うだけで
過ぎてしまうのではなく、街中で変わった行動をしている障がい者がいたら、どうしたい
のだろう？と、もう一歩その子の後ろにある何かに気づいてくれる人に育ってほしいと思
います。

先ほど国語の科目のときも申し述べましたが、小さければ小さいほど、そういう
ことを理解しやすくなると思います。それなので、多様性についても、また障がいを抱え
て生きている人のこともどんどん理解のために書いていただきたいですが、同時に障がい
を抱えた子と共に生活して生きている兄弟たちが経験する気持ちを載せていただけたら、

その家族丸ごと包むように理解できるのではと希望します。ぜひ目を向けていただけたらと思います。どうかよろしくをお願いします。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、日本文教出版がよいのではないかと思いました。最初に中学校で道徳が教科化されたときには、学習ノートがあると、そのノートを書く時間を確保しなければいけない、生徒の負担になるのではないかと思い、そのときは道徳ノートがついていない出版社のものを採択しました。しかし、今回の審議会資料から読み取れることは、やはり現場の先生方にとっては学習シートをその都度準備したり印刷したりするより、ノートのようなものがあらかじめついているほうが授業をやりやすことが分かりました。

巻頭で目次や教科書の使い方のほかに、道徳科で学ぶ4つの領域が示されており、テーマごとに教材が分類されているため、学習内容が整理しやすいと思いました。身近な教材からグローバルな教材まで、幅広い教材を掲載しています。また、発達段階を考慮して適切に配置されているので、生徒が無理なく学習に取り組めると思いました。特に「いじめと向き合う」と「よりよい社会と私たち」というテーマを重点に置いてつくられている点を評価したいと思います。

以上のことから日本文教出版を推したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

道徳の教科用図書につきましては、日本文教出版を推薦いたします。身近にある話題、問題に関する教材が取り扱われておりまして、学びに向かいやすいと感じます。特別の授業道徳について、田野倉委員や小西委員からもありましたけれども、審議会の報告にある点もですが、道徳のことについて記載する内容が何か縛られていたことを書くのではなくて、自分が考えたことや、友達の意見、話し合ったことを、記載する形になっております。心縛られるような道徳教育はいかんというご意見もアンケートには多々あるわけですが、そういったことではないというところが確認できましたし、子どもたちがいろんな問題や事象に対して自分で考える、それを友達とクラスの人たちと話し合うという活動を進めていく上で、日本文教出版の教科用図書が適していると感じましたので、推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

丹治委員さん。

委員（丹治 充君）

私も、結論から申し上げますと、日本文教出版を推薦したいと思います。推薦理由とい

たしましては、他の委員さんも申し上げておりましたので、そのほかの関係から申し上げますが、道徳的価値、これを自分の生活の中で捉えて展開できる構成になっているという点、それから受動的ではなくて、自ら主体的に考えることで、この問題は自分のこととして捉えていくことができるように構成されている教科書だなどと思いました。

以上の観点から日本文教出版を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

日本文教出版、非常に評価が高いということでもございました。私も、日本文教出版がいかなと思います。それと比較し、甲乙つけ難いのは光村図書であります。絵が全体的に非常に優しくて、そういう意味で生徒に考えさせる題材が年間を通して道徳を学ぶような構成になっているなどと思いました。光村図書もなかなかいいですが、今回は日本文教出版を推したいと思います。

それでは、委員の皆様のご意見を取りまとめたいと思います。特別の教科道徳につきましては、日本文教出版を採択することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、特別の教科道徳につきましては、日本文教出版に決定をいたします。

以上をもちまして、16教科全ての採択が終わりました。

念のために確認をいたします。

国語、光村図書、書写、教育出版、社会 地理的分野、東京書籍、社会 歴史的分野、東京書籍、社会 公民的分野、東京書籍、社会 地図、帝国書院、数学、東京書籍、理科、東京書籍、音楽 一般、教育芸術社、音楽 器楽合奏、教育芸術社、美術、光村図書、保健体育、学研教育みらい、技術、東京書籍、家庭、東京書籍、英語、新興出版社啓林館、特別の教科道徳、日本文教出版、以上でよろしいでしょうか。

《はい》

教育長（私市 豊君）

それでは、お諮りをいたします。議案第20号令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第1 議案第20号令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認されました。

ここで休憩といたします。再開は5時10分といたします。

休憩 午後5時01分

再開 午後5時12分

教育長（私市 豊君）

教科書採択お疲れさまでした。お疲れのところでもございますが、もう少しお時間を頂戴

したいと思います。

休憩前に引き続き会議を行います。

日程第2 報告第8号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第5号補正）に関する報告及び承認について、日程第3 報告第9号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第6号補正）に関する報告及び承認についてを一括して上程いたします。

説明を教育部長及び生涯学習担当部長にお願いします。

教育部長。

教育部長（渡邊浩二君）

それでは、報告第8号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第5号補正）に関する報告及び承認について及び報告第9号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第6号補正）に関する報告及び承認について、こちらを続けて説明させていただきます。

提案理由でございますが、本件につきましては、令和2年7月9日に開催されました令和2年あきる野市議会第1回定例会第5回臨時会議における一般会計補正予算第5号及び昨日になりますが、28日に開催されました同定例会第6回臨時会議における一般会計補正予算第6号に計上したものであり、あきる野市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により臨時に代理いたしましたので、同規則第4条第2項の規定によりこれを報告し、教育委員会の承認を求めるものでございます。

それでは、補正の概要につきまして説明させていただきますが、学校教育関係は私から、第6号補正の生涯学習関係につきましては生涯学習担当部長から説明させていただきます。初めに、報告第8号からご説明いたします。

令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第5号補正）の歳入を御覧ください。第16款都支出金、02都補助金、07教育費都補助金の670万1,000円につきましては、この後歳出でご説明いたします学習指導サポーター配置支援事業の財源として都からの補助10分の10を計上したものでございます。

続きまして、次ページの歳出を御覧ください。第10款教育費、01教育総務費1,193万3,000円の減額につきましては、03教育指導費に、学習指導サポーター配置支援事業として、新型コロナウイルス感染症対策による休校措置から学校の教育活動を再開した後、感染症予防策の徹底実施について定着を図る必要があることから、教員の負担が増大する間、子どもの学びの保障をサポートするため、学習指導サポーターの配置に要する会計年度任用職員の報酬等670万1,000円を新たに計上した一方で、当初予算に市立学校国際理解教育経費として計上しておりました英語指導補助教員に係る経費1,863万4,000円については、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた海外から招聘する外国人を補助教員として活用することが困難となったことから、本事業に係る全ての経費を減額したことによるものでございます。

続きまして、02小学校費及び03中学校費のそれぞれ02教育振興費701万4,000円及び419万7,000円、合わせまして1,121万1,000円につきましては、減額した市立学校国際理解教育経費に代えて、国内に居住する外国人を英語指導補助

教員として配置するための講師派遣委託経費を計上したものでございます。

続きまして、報告第9号令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第6号補正）の学校教育関係予算についてご説明いたします。

次ページを御覧ください。第10款教育費、02小学校費及び1項飛ばしまして03中学校費にそれぞれ01学校管理費2,796万2,000円及び1,677万7,000円、合わせまして4,473万9,000円につきましては小中学校の管理用コンピューター経費に教員の負担軽減につなげる働き方改革と併せまして、今回の新型コロナウイルス感染症の影響による小中学校の臨時休業により、教員も在宅勤務を余儀なくされたことから、指導の準備や校務など職場のみならず在宅でも行うことができる環境を整備することを求められていることから、校務支援システムの導入委託料を計上したものでございます。

最後に、1項戻りまして、02小学校費、03学校保健衛生費45万9,000円は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休み期間中に予定していた移動教室が学期中に変更になるため、同行する看護師を新たに確保する必要が生じたことから、その報償費を追加計上したものでございます。

学校教育に関する補正予算の説明は以上でございます。

教育長（私市 豊君）

生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（佐藤幸広君）

私からは、生涯学習関係の補正予算についてご説明をさせていただきます。

教育委員会所管予算第6号補正となっている一覧の一番下の段を御覧いただきたいと思っております。04社会教育費、05図書館費、図書館一般経費126万5,000円の補正でございますけれども、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環といたしまして、図書館の各館に利用者が自ら図書を除菌できる除菌ボックスを購入し、配置するための予算でございます。

説明につきましては以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

何か質問等がありますでしょうか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

3点質問したいと思います。

まず、学習指導サポーターの配置の件です。子どもの学びのサポートということで、新たに人材が学校に入ってくるということですが、実際にはどういったことをなさっているのか、どういった役割を担っているのかが1点と、あと各学校へどのように派遣されているのかが2点目、もう一つ、図書館に自ら図書を除菌できる除菌ボックスがあるのですが、どのような形で一般の市民のかたが使用するのかを、もう少し詳しく聞きたいことと、全ての図書館に設置されているのかをお聞きしたいと思います。

教育長（私市 豊君）

指導担当部長。

指導担当部長（草刈あずさ君）

では、私から学習指導サポーターについてお答えしたいと思います。

まず、役割ですが、子どもたちの個別指導や学習の補助、また今教員が担っている消毒や朝の健康観察のときの健康カードのチェックなど、多岐にわたって学校をフォローできる人材の活用となっております。では、どのような人を配置しているかですが、現在教員補助員をやっている方に追加で1日数時間やっていただいたり、また新たに募集もかけていますので、学校によっては新しい方を任用しています。予算が通ったばかりですが、既に活用が始まっている学校もあります。また、短期の職種ですので、任用期間は10月末までを予定しております。学校への割り振りは、一律35万円程度で割り振っております。

教育長（私市 豊君）

よろしいですか。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

はい。

教育長（私市 豊君）

図書館長。

図書館長（紺藤修子君）

お答えいたします。

自ら図書を除菌できる除菌ボックス、いわゆる本の消毒器ですが、こちらにつきましては一度に6冊除菌できる機械でございます。機械の中に本を入れて、ボタン1つ押していただきますと紫外線が当たりまして、45秒で殺菌できます。分室も入れまして、あきる野市は4館ございますので、各図書館に1台ずつ設置する予定でございます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

この除菌はどのタイミングで、自分が借りていた図書を図書館に返すときに除菌をして返却するというのでしょうか。

教育長（私市 豊君）

図書館長。

図書館長（紺藤修子君）

現在返却された資料等につきましては、図書館員が電解除菌水で全て1冊ずつ手で拭いて消毒しております。貸すときには、消毒したものをお貸ししておりますが、中にはやはりそれでも心配な方もいらっしゃると思いますので、借りた方がご自身で殺菌をしていただいて、そのまま家にお持ち帰りいただく形です。返却のときは職員が行います。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

そうですか、分かりました。ありがとうございます。

教育長（私市 豊君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

中学校費、02教育振興費の中の国際理解教育経費の関係で、海外から来る人ではなくて、国内にいる外国人を活用するという辺りですが、これは小学校もそうですね。いつから、そして何人ぐらい、手当はどのぐらいを見込んでおられるのでしょうか。

以上です。

教育長（私市 豊君）

指導担当部長。

指導担当部長（草刈あずさ君）

失礼いたします。詳細な人数については、これから委託の契約を結びますが、当初の計画では、今年度からのJETということで、国際交流しているマールボロ市から人材を派遣してもらう予定でいしましたが、コロナのことがありましたので、9月以降アメリカから来ていただくことはなかなか難しいと判断し、今まで配置していたようなALTの民間の業者に頼んで、今日本にいる外国の方をお願いしたいということで、予算が通りました。9月以降各社から見積りを取って入札をして、そして配置と考えております。ここで取れた予算と、業者からの示されたもの次第で単価や人数を計算しているところです。配当の日数や時数については昨年度と同様の小学校だと半分程度、中学校だと6分の1程度の時数の配当を考えています。

委員（丹治 充君）

そうすると、単純に例えば1人、あるいは1人を1か月ごとに学校を替えながら回すなど、色々な方法があると思いますが、この積算根拠になっている人数は大体何人ぐらいを想定していますか。

指導担当部長（草刈あずさ君）

すみません、積算根拠の人数を把握していたところ失念してしまったのですが、中学校でも6分の1ぐらいの時数しかないので、1人1校ではなく、中学校用の人を決めて行かせるのか、それとも小中織り交ぜて行かせるのかという辺りも考えているところです。数校で1人、その方の雇用の形態にもよりますが、業者によっては人数8人ぐらいを見込んでいます。今月はどこの学校というよりは薄く次々、何曜日かどこの学校とどこの学校を回るといった感じです。新しいものに取り組もうと思っていたのですが、これまでやってきたようなスタイルに戻すという考え方です。

教育長（私市 豊君）

去年までやっていた、それを急遽あと半年ぐらいですけれども、もうやるしかない。

委員（丹治 充君）

それでは、参考までに、雇用保険はどういう扱いになりますか。

教育長（私市 豊君）

はい、教育部長。

教育部長（渡邊浩二君）

予算の説明をした立場としてお話しします。補正前のものと補正後のものは若干予算組みが違いまして、補正後は講師派遣の委託料になります。したがいまして、市としては、委託業務に対する委託料を支払うわけで、実際雇用をしているのは委託業者でございます。

市に雇用保険といったものは発生せず、こちらが求める人数、それから時間に対して委託業者が人を派遣してくれるという考え方です。

委員（丹治 充君）

では業者のほうで負担ですか。

教育部長（渡邊浩二君）

それを含めた委託料になるということです。

委員（丹治 充君）

ありがとうございました。

指導担当部長（草刈あずさ君）

すみません、予算の範囲内でやっていただけるといふようにと、元に戻しました。

教育長（私市 豊君）

本当に急遽、どうしようもないということで。

委員（丹治 充君）

では、マールボロウ市から来ることを想定していたとすると、マールボロウ市から何人ぐらい予定していましたか。

教育長（私市 豊君）

マールボロウ市に限るということではなくて。

指導担当部長（草刈あずさ君）

そうですね、そこから定員分来てもらえると、もうお願いしての話なので、それでもやはり1校に1人とはいえないと思います。

委員（丹治 充君）

直接だと、非常に難しい問題が背景にあるわけですね。今渡邊部長がおっしゃられたように、あきる野市からの派遣だったら、そういう問題はないですね。

教育長（私市 豊君）

そのとおりです。

委員（丹治 充君）

はい、分かりました。これからですね。

指導担当部長（草刈あずさ君）

これから業者を決めて、様々な交渉をしていくと。

委員（丹治 充君）

はい、ありがとうございました。

教育長（私市 豊君）

ほかによろしいですか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

分からないので、教えていただきたいのですが、移動教室付き添い看護師報償の移動教室の日程が夏休みから学期中に変更になった小学校6校の付き添い看護師報償を計上するとありますけれども、残りの4校についてはどのようになっていたのですか。

教育長（私市 豊君）

指導担当部長。

指導担当部長（草刈あずさ君）

残りの4校は、1学期から2学期に移った、または2学期からそのまま2学期の後ろのほうに持っていったということです。もともとの計画は1学期から2学期の間に計画されていて、当初から学期中を予定していた学校は付き添い看護師の予算を取っていましたが、夏休み中にやる学校は養護教諭が学校にいる必要がありませんので、養護教諭が引率するため予算を取っていませんでした。そういう意味で6校分だけとなっております。

委員（小西フミ子君）

分かりました。ありがとうございます。

教育長（私市 豊君）

よろしいですね。

ほかにありませんか。

委員（丹治 充君）

いいですか。

教育長（私市 豊君）

はい、丹治委員。

委員（丹治 充君）

修学旅行が実施されるということですが、これは正式にやってもいいということですか。

教育長（私市 豊君）

指導担当部長。

指導担当部長（草刈あずさ君）

正式にというと、なかなか全てにGOというわけではないですが、今すぐ中止にするという考え方ではなく、なるべく子どもたちも楽しみにしていますし、行く意味というものあって泊まるものです。1学期は無理なので2学期以降に修学旅行は延期をして、10月から11月にかけて6校予定されています。キャンセルについては、キャンセル料がかなり跳ね上がることになる9月の頭ぐらいまでは、少し様子を見ていきたいということで、今のところ全校行く予定で計画を立てているという状況です。

委員（丹治 充君）

例えばGOTキャンペーンではないですが、キャンセル料はばかにできないですね。

教育長会の中ではそういう話はないですか。

教育長（私市 豊君）

ありました。要は日時の関係で、先ほど指導担当部長が言われたようにキャンセル料が跳ね上がるので、その時期の見極め、これが非常に大事です。あきる野市の場合はキャンセル料については公費でという考えですから、保護者に負担がかかるということは考えておりません。できるだけタイミングを計って判断をしたいと考えております。

委員（丹治 充君）

ありがとうございました。

教育長（私市 豊君）

ほかによろしいですか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第2 報告第8号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第5号補正）に関する報告及び承認について、日程第3 報告第9号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第6号補正）に関する報告及び承認については、ただいま決定したとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第2 報告第8号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第5号補正）に関する報告及び承認について、日程第3 報告第9号臨時代理した令和2年度あきる野市教育委員会所管予算（第6号補正）に関する報告及び承認については、ただいま決定したとおり承認されました。

続きまして、日程第4 報告第10号臨時代理したあきる野市小和田グラウンド災害復旧工事（債務負担行為）の請負契約の変更に関する報告及び承認についてを上程します。

それでは、説明を生涯学習担当部長、お願いします。

生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（佐藤幸広君）

それでは、報告第10号臨時代理したあきる野市小和田グラウンド災害復旧工事の請負契約の変更に関する報告及び承認についてご説明をさせていただきます。

あきる野市小和田グラウンド災害復旧工事（債務負担行為）の請負契約の変更について、あきる野市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定により教育委員会に報告し、承認を求めるものでございます。

契約変更の理由でございますが、小和田グラウンド災害復旧工事において、河川占有区域である既存の出入口を使用して施工する予定でありましたが、東京都が施工する秋川防災工事、いわゆる護岸の工事なんですけれども、工期延長によりまして、既存の出入口を使用することができなくなり、本市の工事施工に支障が出ることから、新たに仮設道路及び出入口を設置して対応するため設計の変更を行い、請負契約の変更をしたものでございます。なお、請負契約の変更に伴う増減額、変更後の契約額などにつきましては別紙のとおりでございます。

報告につきましては以上でございます。ご承認のほどよろしくお願いいたします。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

質疑に入ります。

何か質問などがありますでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

東京都が施工する工事の工期延長によって新たな出入口を施工する必要が出たということだと思のですが、そういった部分については東京都から何ら補填はないのでしょうか。

教育長（私市 豊君）

スポーツ推進課長。

スポーツ推進課長（長谷川美樹君）

お答えいたします。

市は、小和田グラウンドの河川占用の許可をいただいておりますが、東京都が工事等によって使用する場合は東京都の使用が優先されることとなります。このため市が仮設道路を設置する必要があるというものでございます。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

東京都は負担するかどうか。

スポーツ推進課長（長谷川美樹君）

東京都は負担はいたしません。ここはあくまでも東京都の河川というところで、都の工事が優先で、そのための市の工事費がかかったとしても、東京都はそれについては負担せず、占有を受けていた市が施工するというルールとなっております。

以上でございます。

委員（坂谷充孝君）

ありがとうございました。

教育長（私市 豊君）

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

よろしいですか、重ねて質問ですが、こちらの復旧工事の費用というのは、全額市負担でしたか。

教育長（私市 豊君）

スポーツ推進課長。

スポーツ推進課長（長谷川美樹君）

この工事につきましては、災害復旧工事の国庫の補助金の申請をしておりますので、その中で精算していきます。現在東京都を通じて国に調整をしているところでございます。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

ということは、この今回新たに発生した工期延長による新たな施工という部分も国庫補助金を得て行うことができるということでしょうか。それとも市の持ち出しになるのでしょうか。

教育長（私市 豊君）

スポーツ推進課長。

スポーツ推進課長（長谷川美樹君）

この新たな工事につきましても、国庫の対象となるように今確認をしているところでございます。

教育長（私市 豊君）

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

そのようにお願いしたいと思います。

教育長（私市 豊君）

いいですか。

委員（坂谷充孝君）

ありがとうございます。

教育長（私市 豊君）

ほかにございませんか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第4 報告第10号臨時代理したあきる野市小和田グラウンド災害復旧工事（債務負担行為）の請負契約の変更に関する報告及び承認については、原案のとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第4 報告第10号臨時代理したあきる野市小和田グラウンド災害復旧工事（債務負担行為）の請負契約の変更に関する報告及び承認については、原案のとおり承認されました。

続きまして、教育長及び教育委員の報告でございますが、私からはお手元の資料のとおり、定例的なものでございますので、特に報告はございません。

他の委員さんから報告等がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

委員（丹治 充君）

ちょっといいですか。

教育長（私市 豊君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

昨日のいじめをなくそう子ども会議、非常によかったですね、事務局は準備が大変だったのではと思っております。ありがとうございました。

あれができるということは、今度は休校になったときには、場合によったら各家庭にも流せるし、そのようなことも考えられるのではと思うのですけど。

指導担当部長（草刈あずさ君）

ありがとうございます。現在学校側のパソコン環境は校長用と副校長用と、場合によってはもう一台ウェブカメラが付いています。学校によっては管理職用しかないのですが、校長

室を提供して、校長先生のパソコンを使わせてもらったという状況もありました。今はやることにだんだん慣れてきていますし、今後ICT環境も目覚ましく整っていく予定ですので、どんどん活用が広まっていくといいなという期待も込めてやったところです。

委員（丹治 充君）

あれができるなら授業ができたのではないかと思ったりしました。

指導担当部長（草刈あずさ君）

受け手もこれからですので。

委員（丹治 充君）

今学校で、場合によってはIT担当の情報科の先生でもいいから、各学校で計画をしたり、研修で流してもらうような方法も有効に活用できるのではないですか。

指導担当部長（草刈あずさ君）

そうですね、ここまで副校長会と教務主任会と生活指導主任会と保健主任会など、幾つかウェブ会議で先生たちにも参加してもらい、使える先生を少しずつ増やしています。これからコロナでまたどうなるか分からないので、子どもたちが先生の顔が見られること、お互いの顔が見られることが必要になってくる可能性もあるので、前向きに検討して進めたいと思います。

委員（丹治 充君）

いい企画でしたね。

指導担当部長（草刈あずさ君）

ありがとうございます。

委員（丹治 充君）

準備は相当かかったのではないですか。

指導担当部長（草刈あずさ君）

かかっていました。大道先生は、特に、全校回って全部整えて、大貢献でした。

委員（丹治 充君）

縁の下の力持ちで大変でしたね。ご苦労さまでした。

教育長（私市 豊君）

いじめ会議のオンライン開催はかなりいい評価ですが、ICT環境の件については教育総務課長から、説明していただけますか。

教育総務課長（鈴木将裕君）

分かりました。年度当初、あきる野においては、LAN環境の整備のみを進めることとしていましたが、国の支援事業や制度が整った関係で、端末についても、年度内に全児童・生徒数分を用意する形になります。ただ、実際に授業の中で活用していくためには、整備されたICT環境でどのようなことができるのかを研究し、生徒と一緒に使い方を学んでいくところから始まります。学び方を共に学んでいくのは、整備後の年度末、次年度以降になるかと思えます。一方で、先ほどの説明のとおり、教員の働き方改革を求められている中、あきる野市には、校務支援システムといった先生方の事務効率を上げるようなシステムが入っていないという状況があります。オンライン学習の導入により、更なる教員の負担増が見込まれることから、早急に整備する必要があるということで、今回補正で、こ

れも年度内に整備し、来年度から使えるような形を整えたいと思っています。

今、丹治委員からありましたように、今回リモートで、いじめ会議を開催しましたが、タブレットや通信機器は、これからもどんどん使っていくようになると思います。しかしながら、各学校には、校長室の端末、副校長の端末の2台くらいにしかカメラが付いていないので、前回の補正では、各学校に6個ずつ外付けのカメラを用意できるよう措置し、昨日、現物も入ってきています。そういった物が入ってきますと、クラス単位で色々な授業ができるようになりますし、先生方のアイデアを生かした特色のある活用も出てくるものと思います。

また、端末については、LAN環境整備と併せて、今年度8月中にプロポーザルの形で事業者を選定し、整備することになります。学校単位で一気に数百台増える端末を管理しなければいけないということ、16校一斉に環境整備ができるのかという問題もあります。保護者の方々も、そういった環境を早く整備してほしいという気持ちがあるかと思いますが、どの地区を先に整備するのか、バランス良く全地区一斉で整備を進めるのか等については、今回のプロポーザルで決定する事業者との話し合いを進める中で考えたいと思います。いずれにせよ、実際の活用については、次年度以降になるのかなと感じております。簡単ですが、このようなことでございます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

このような状況でございます。

委員（小西フミ子君）

子どもの中でオンラインの整備があつて、家庭でオンラインのやり取りを子ども同士でやっているような話がありますか。

教育総務課長（鈴木将裕君）

オンライン関係ということですが、各家庭の通信環境がどの程度整備されているか、端末があるのかといったところで、学務係の方で調査をかけさせていただいておりますが、実際、子どもたちがそういうものを使って、生徒同士で通信しているかというところまでは捉えていません。ただ、先ほどの丹治委員からありましたように、今後、端末を各家庭に貸し出し、色々なことができるのではないかという話になると、通信環境が整っていない家庭が想定以上に多いという実態があがること、これは大きな課題と感じています。今は、通信ツール、携帯端末である程度色々な情報がとれるので、パソコンがない家庭も非常に多いというのが現状です。そういったところでは、タブレット等を家庭に配った場合、何かトラブルがあつたときに保護者が対応できるのかということも問題だと思えます。また、子どもだけで、特に低学年の子が一日中ずっと端末の前で授業受けられるのかという点については、学校訪問などの際、席にじっと座って授業を聞いていられない子どもも多いという実情を見ているので、少し難しいのかなと考えています。

いずれにいたしましても、通信費の負担をどうするのかということもあります。財力があつても通信環境を整えていないご家庭もありますので、そういったところには支援をしないのかという、見方を変えれば違う意味での不公平感というものも出てくると思いますので、ここら辺は慎重に、今後、議論する必要があると考えております。

教育長（私市 豊君）

よろしいでしょうか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

また、追々報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてご案内をお願いいたします。

教育総務課長（鈴木将裕君）

では、今後の日程等についてご案内させていただきます。

次回令和2年8月の教育委員会定例会ですが、8月19日の水曜日、時間がいつもと違いまして、夕方午後6時から開催となります。会場は505会議室、いつもと同じ場所になりますので、よろしくお願いいたします。

私からの報告は以上となります。

教育長（私市 豊君）

よろしいですね。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会7月の定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後5時49分